(2)		•		吹隊 クノイノ 号	1111/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1		
対象学科	映画プロデュース科	科目名	撮影				
担当教員	長谷川新		実務授業の有無				
対象コース 		対象学年	1	開講時期	前期・後期		
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間		
授業概要、目6 授業の進め方	り、 1. 撮影基礎を復習。 2. 特殊機材を使用しての実 3. 上記を踏まえ、ストーリ						
学習目標(到達目標)	撮影現場で他者とのイメーシ	゙が共有出来、よりī	E確に具現化する				
テキスト・教 考図書・その	教科書は使用しない、必要な	な資料はその都度配る	/ 15				
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考		
1 • 2 撮影基礎			撮影機材について	(
3 • 4 撮影基礎	●の復習Ⅱ		撮影機材について	C			
5 ・ 6 撮影実習	'・技法		特殊機材を使用し				
7・8 撮影実習	'・技法Ⅱ		特殊機材を使用し	しての実習			
9・10 撮影実習	'・技法Ⅲ		特殊機材を使用し	しての実習			
11.12 撮影実習	」・技法Ⅳ		カメラワーク基础	楚			
13·14 撮影実習	・技法 V		カメラワーク基礎				
15.16 撮影実習	・技法VI		カメラワーク基礎				
17.18 撮影実習	1		室内撮影				
19・20 撮影実習	' II		室外撮影				
21.22 撮影実習	'III		既存の映像の考察及び再現Ⅲ				
23.24 撮影実習	IV		既存の映像の考察及び再現IV				
25・26 映像制作	実習丨		学生シナリオを元にした映像制作実習				
27・28 映像制作	実習Ⅱ		学生シナリオを元にした映像制作実習Ⅱ				
29・30 映像制作	実習Ⅲ		学生シナリオを元にした映像制作実習Ⅲ				
31・32 映像制作	実習Ⅳ		学生シナリオを元にした映像制作実習IV				
33.34 映像制作	実習Ⅴ		学生シナリオを元にした映像制作実習V				
35・36 映像制作	実習VI		学生シナリオを元にした映像制作実習VI				
37・38 映像制作	実習W		学生シナリオを対	元にした映像制作実施	IJ ————————————————————————————————————		
39・40 講評			講評・テスト				
41・42 講評			講評・テスト				
43・44 講評	- 4 4 請責平			講評・テスト			
45・46 講評			講評・テスト				
47・48 講評							
	評価方法・成績評価基準			履修上の注意	-		
定期試験40%、レポート25%、実技試験25%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点 下)・D評価を不可とする。			出来る事。学生自身	朱機材のセッティングは 身が最後までシナリオで 国。全ての実習項目に出	を書き、尚且、映像作品		
実務経験教員	の経歴	新潟で20年以_	I 上カメラマンと	して活躍			

11	n4	41 F L	1		1111/2 2 7 1 1 1	
対象学科	映画プロデュース科	科目名	撮影			
担当教員	長谷川新	ļ.,,	務授業の有無 	1	<u> </u>	
対象コース 必修・選択	必修	対象学年 単位数	2	開講時期単位時間数	前期・後期 48時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 撮影基礎を復習。 2. 特殊機材を使用しての実習 3. 上記を踏まえ、ストーリー			十四州即数	40 ki) [11]	
学習目標 (到達目標)	撮影現場で他者とのイメージが	, 共有出来、よりī	E確に具現化する			
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	資料はその都度配 る	,			
回数	授業項目、内容		学習	対 する 方法・準備学習	・備考	
1・2 撮影基礎の復習			撮影機材の原理・	使用方法		
3・4 撮影基礎の復習	I		撮影機材の原理・	使用方法		
5・6 撮影実習・技法			特殊機材を使用し	ての実習		
7・8 撮影実習・技法	l		特殊機材を使用し	ノての実習∥		
9・10 撮影実習・技法	I		特殊機材を使用し	ノての実習Ⅲ		
11・12 撮影実習・技法	<i>I</i>		特殊機材を使用し	ノての実習Ⅳ		
13・14 撮影実習・技法 \	/		特殊機材を使用し	ノての実習 V		
15·16 撮影実習・技法V	1		特殊機材を使用しての実習VI			
17·18 撮影実習			既存の映像の考察及び再現Ⅰ			
19・20 撮影実習Ⅱ			既存の映像の考察及び再現Ⅱ			
21.22 撮影実習			既存の映像の考察	₹及び再現Ⅲ		
23.24 撮影実習Ⅳ			既存の映像の考察	₹及び再現IV		
25·26 映像制作実習			学生シナリオをデ	こにした映像制作実 ³	習	
27・28 映像制作実習Ⅱ			学生シナリオを元にした映像制作実習			
29・30 映像制作実習Ⅲ			学生シナリオを元にした映像制作実習Ⅲ			
31.32 映像制作実習Ⅳ			学生シナリオを元にした映像制作実習IV			
33⋅34 映像制作実習Ⅴ			学生シナリオを元にした映像制作実習 V			
35·36 映像制作実習VI			学生シナリオをデ	こにした映像制作実 ³	習VI	
37·38 映像制作実習VII			学生シナリオをデ	こにした映像制作実 ³	習VII	
39.40 講評			講評・テスト			
41・42 講評			講評・テスト			
43.44 講評			講評・テスト			
45・46 講評			講評・テスト			
47.48 講評			講評・テスト			
評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	Ţ	
	5%、実技試験25%、学習意欲10 以上)・B(70点以上)・C(60点以」		出来る事。学生自身		および操作が学生自身 [・] を書き、尚且、映像作。 出席し、諦めず責任を	
実務経験教員の経歴	3	新潟で20年以	<u> </u> 上カメラマンと	 して活躍		
	<u> </u>	17.1mg くとり Fク(=		~ ~ / H M H		

(2)	nl — 0 - ° - ·	20 - 1			1子仪 フラバス	
対象学科	映画プロデュース科	科目名	74 1 T Y - 1 - 1 - 1	撮影		
担当教員 対象コース	長谷川新		務授業の有無 	開講時期	○ 前期・後期	
対象コース 必修・選択	必修		_	単位時間数	 48時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 撮影基礎を復習。 2. 特殊機材を使用しての実習 3. 上記を踏まえ、ストーリー					
学習目標 (到達目標)	撮影現場で他者とのイメージが	共有出来、より〕	E確に具現化する			
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配れ	,			
回数	授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考	
1・2 撮影基礎の復習	I		撮影機材の原理・	使用方法 I		
3・4 撮影基礎の復習	II		撮影機材の原理・	使用方法		
5・6 撮影実習・技法	I		特殊機材を使用し	,ての実習		
7・8 撮影実習・技法	II		特殊機材を使用し	.ての実習 II		
9・10 撮影実習・技法	II		特殊機材を使用し	,ての実習Ⅲ		
11・12 撮影実習・技法	V		特殊機材を使用し	.ての実習IV		
13・14 撮影実習・技法	V		特殊機材を使用し	.ての実習 V		
15・16 撮影実習・技法\	/I		特殊機材を使用しての実習VI			
17·18 撮影実習			既存の映像の考察及び再現Ⅰ			
19·20 撮影実習			既存の映像の考察	₹及び再現Ⅱ		
21.22 撮影実習			既存の映像の考察及び再現Ⅲ			
23.24 撮影実習IV			既存の映像の考察及び再現IV			
25・26 映像制作実習			学生シナリオを元にした映像制作実習Ⅰ			
27・28 映像制作実習Ⅱ			学生シナリオを元にした映像制作実習			
29⋅30 映像制作実習Ⅲ			学生シナリオを元にした映像制作実習Ⅲ			
31·32 映像制作実習IV			学生シナリオを元にした映像制作実習IV			
33·34 映像制作実習 V			学生シナリオを元にした映像制作実習 V			
35·36 映像制作実習VI			学生シナリオを元にした映像制作実習VI			
37⋅38 映像制作実習Ⅷ			学生シナリオを元にした映像制作実習Ⅶ			
39・40 講評			講評・テスト			
41・42 講評			講評・テスト			
43・44 講評			講評・テスト			
45・46 講評			講評・テスト			
47・48 講評			講評・テスト			
- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	価方法・成績評価基準	_		履修上の注意		
	25%、実技試験25%、学習意欲10 以上)・B(70点以上)・C(60点以上		出来る事。学生自身		らよび操作が学生自身で を書き、尚且、映像作ら 出席し、諦めず責任を	
実務経験教員の経歴	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	所潟で20年以」	L Lカメラマンと	して活躍		

対象コース 対象学年 4 開講時期 前期・後期 必修・選択 必修 単位数 ー 単位時間数 48時間 授業概要、目的、 1. 撮影基礎を復習。 2. 特殊機材を使用しての実習	対象学科	映画プロデュース科	科目名	撮影			
参修・選択 多様 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単	担当教員	長谷川新	実	ア務授業の有無			
提案報義 目的。	対象コース		対象学年	4	前期・後期		
2. 特殊観れを集用しての大型 (別注日曜)	必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
(到洋目標)	授業概要、目的、 授業の進め方	2. 特殊機材を使用しての実習					
一回数 快業項目、内容 学習方法・準値学習・値考 1・2 認知語の必要・但用方法 2 認知語の必要・但用方法 2 認知語の必要・但用方法 2 認知語の必要・但用方法 2 認知語の必要・但用方法 2 2 2 2 2 2 2 2 2	(到達目標)	撮影現場で他者とのイメージが	ぶ 共有出来、より』	E確に具現化する			
1 - 2 総影本部の信音		教科書は使用しない、必要な資	資料はその都度配 れ	,			
3 - 4 総形左右の総否	回数			学習	 []] 方法・準備学習	習・備考	
15 - 6 概形実育・技法	1・2 撮影基礎の復習			撮影機材の原理・	使用方法		
7 - 8 録形表面・技法	3・4 撮影基礎の復習	l		撮影機材の原理・	使用方法		
13-12 撮影実習・技法	5・6 撮影実習・技法			特殊機材を使用し	ての実習丨		
11・12 最影美習・技法IV	7・8 撮影実習・技法			特殊機材を使用し	ての実習		
13-14 概影実習・技法V 特殊機材を使用しての実習V 15-16 概影実習・技法V 特殊機材を使用しての実習V 17-18 撮影実習 規序の映像の考察及び再現 現存の映像の考察及び再現 アキシナリオを元にした映像制作実習 デキシナリオを元にした映像制作実習 デキシナリオを元にした映像制作実習 デキシナリオを元にした映像制作実習 アキシナリオを元にした映像制作実習 アキシナリオを元にした映像制作実 アキシナリオを元 日本の主味 港評・テスト 港評・テスト 港評・テスト 港評・テスト 港評・テスト 港評・アスト 港部・ディスト 港部・アスト 港	9・10 撮影実習・技法	I		特殊機材を使用し	<i>、</i> ての実習Ⅲ		
15・16 撮影実習・技法V 特殊機材を使用しての実習V	11・12 撮影実習・技法 \	l .		特殊機材を使用し	ての実習IV		
17 - 18 選影実習 現存の映像の考察及び再現 現存の映像の考察及び再現 現存の映像の考察及び再現 現存の映像の考察及び再現 現存の映像の考察及び再現 現存の映像の考察及び再現 現存の映像の考察及び再現 現存の映像の考察及び再現 現存の映像の考察及び再現 学生シナリオを元にした映像制作実習 学生シオリオを元にした映像制作業 学生の主意 講評・テスト 学生の主意 講評・テスト 学生の主意 講評・テスト 学師 学・ディを加工さま。 は、映像作品 学生の主意 学	13・14 撮影実習・技法 V	/		特殊機材を使用し	ての実習V		
19・2 0 展彰実習	15·16 撮影実習・技法V	1		特殊機材を使用しての実習VI			
現産の映像の考察及び再現 現産の映像の考察及び再現 現産の映像の考察及び再現 現産の映像の考察及び再現	17·18 撮影実習			既存の映像の考察及び再現Ⅰ			
23 · 24 撮影実習IV	19·20 撮影実習			既存の映像の考察及び再現Ⅱ			
25 - 26 映像制作実習 学生シナリオを元にした映像制作実習 学生シナリオを元にした映像制作実習 学生シナリオを元にした映像制作実習	21⋅22 撮影実習Ⅲ			既存の映像の考察及び再現Ⅲ			
27・28 映像制作実習 学生シナリオを元にした映像制作実習 学生シナリオを元にした映像制作実習 学生シナリオを元にした映像制作実習 学生シナリオを元にした映像制作実習 学生シナリオを元にした映像制作実習 学生シナリオを元にした映像制作実習 学生シナリオを元にした映像制作実習 学生シナリオを元にした映像制作実習 学生シナリオを元にした映像制作実習	23·24 撮影実習Ⅳ			既存の映像の考察	R及び再現IV		
29・30 映像制作実習III 学生シナリオを元にした映像制作実習III 31・32 映像制作実習IV 学生シナリオを元にした映像制作実習IV 33・34 映像制作実習V 学生シナリオを元にした映像制作実習V 35・36 映像制作実習VII 学生シナリオを元にした映像制作実習VII 37・38 映像制作実習VII 学生シナリオを元にした映像制作実習VII 39・40 講評 講評・テスト 41・42 講評 講評・テスト 41・42 講評 講評・テスト 41・48 講評 講評・テスト ボーラスト ボー・デスト ボー・デート ボー・デスト ボー・デート ボー・デスト ボー・デート ボー	25・26 映像制作実習			学生シナリオを元	たにした映像制作実	習	
31・32 映像制作実習IV 学生シナリオを元にした映像制作実習IV 33・34 映像制作実習V 学生シナリオを元にした映像制作実習V 35・36 映像制作実習VI 学生シナリオを元にした映像制作実習VI 37・38 映像制作実習VII 学生シナリオを元にした映像制作実習VII 39・40 講評 講評・テスト 41・42 講評 講評・テスト 41・42 講評 講評・テスト 45・46 講評 講評・テスト 47・48 講評 講評・テスト 27・48 講評	27·28 映像制作実習			学生シナリオを元にした映像制作実習Ⅱ			
33・34 映像制作実習V 学生シナリオを元にした映像制作実習V 学生シナリオを元にした映像制作実習V 学生シナリオを元にした映像制作実習VI 37・38 映像制作実習VI 学生シナリオを元にした映像制作実習VI 学生シナリオを元にした映像制作実習VI 39・40 講評 講評・テスト 講評・テスト 講評・テスト 講評・テスト 講評・テスト 講評・テスト 講評・テスト 講評・テスト	29⋅30 映像制作実習Ⅲ			学生シナリオを元にした映像制作実習Ⅲ			
第字	31·32 映像制作実習IV			学生シナリオを元にした映像制作実習Ⅳ			
37・38 映像制作実習VII	33⋅34 映像制作実習Ⅴ			学生シナリオを元にした映像制作実習 V			
39・40 講評 講評・テスト 41・42 講評 講評・テスト 43・44 講評 講評・テスト 45・46 講評 講評・テスト 47・48 講評 講評・テスト 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 定期試験40%、レポート25%、実技試験25%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D評価を不可とする。	35·36 映像制作実習VI			学生シナリオを元にした映像制作実習VI			
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	37⋅38 映像制作実習Ⅶ			学生シナリオを元	たにした映像制作実	習VII	
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	39·40 講評			講評・テスト			
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	41・42 講評			講評・テスト			
##	43・44 講評			講評・テスト			
評価方法・成績評価基準 履修上の注意 定期試験40%、レポート25%、実技試験25%、学習意欲10% 安全かつ素早く特殊機材のセッティングおよび操作が学生自身で出来る事。学生自身が最後までシナリオを書き、尚且、映像作品及績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D評価を不可とする。 持って参加する事。	4 5 · 4 6 講評 講評・テスト						
定期試験40%、レポート25%、実技試験25%、学習意欲10% 安全かつ素早く特殊機材のセッティングおよび操作が学生自身で出来る事。学生自身が最後までシナリオを書き、尚且、映像作品成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D評価を不可とする。 持って参加する事。	47・48 講評	47·48 講評 講評 講評・テスト					
出来る事。学生自身が最後までシナリオを書き、尚且、映像作品 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以 下)・D評価を不可とする。 持って参加する事。	評価方法・成績評価基準 履修上の注意 履修上の注意						
実務経験教員の経歴 新潟で20年以上カメラマンとして活躍	成績評価基準は、A(80点り	以上)・B(70点以上)・C(60点以」		出来る事。学生自身として完成させる事	が最後までシナリオ	を書き、尚且、映像作品	
	実務経験教員の経歴		新潟で20年以	L 上カメラマンと	して活躍		

対象学	科	映画プロデュース科	科目名	名 シナリオプランニング				
担当教	 員	渡辺 一久	実	<u></u> 務授業の有無		0		
対象コ	ース		対象学年	1	開講時期	前期・後期		
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間		
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. シナリオの基本 2. ストーリーの作り方 3. 原作からの脚本起こし						
学習目	目標)	シナリオが理解出来る						
	ト・教材・参	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配	布				
回数		l		学習	図方法・準備学習	· 備考		
1	シナリオとは何か	`?シナリオ・台本・脚本の違い		プリント配布				
2	シナリオルール(表紙・ト書き、台詞位置、20×20	マス使用など)	プリント配布				
3	ストーリーの作り	方(ジャンル別)		プリント配布				
4	ストーリーの作り	方(登場人物について)		プリント配布				
5	ストーリーの作り	方(設定場所・時代について)		プリント配布				
6	ストーリーの作り	方(構成 起承転結)		プリント配布				
7	ストーリーの作り	方(シーンごとのメリハリ)		プリント配布				
8	四コマ漫画の作成	え (課題テスト)		これまでの学習が	が生かされtいるかを	チェック		
9	ラジオドラマ1分 授業中に作成、随	間シナリオ作成 1時、指導・アドバイスあり		期日までに提出				
11	ラジオドラマ5分向 授業中に作成、随	間シナリオ作成 頃時、指導・アドバイスあり		期日までに提出				
13 14	ラジオドラマ10分 授業中に作成、随	♪間シナリオ作成 頃時、指導・アドバイスあり		期日までに提出				
15 16	10分ラジオドラマ	?を収録し、完成度を評価する		評価				
	<u> </u> 				 履修上の注意	·		
ラジオド	・ラマ完成度50%、	ラジオドラマシナリオ40%、学	習意欲10%					
	5基準は、A(80点以 ₹価を不可とする。	从上)・B(70点以上)・C(60点以上	<u>-</u>)・D(59点以		でシナリオを書き、尚島 責任を持って参加する引	∃、映像作品として完成 ፮。		
実務経	経験教員の経歴	映修	象業界現場経駒	<u>l</u> 倹27年、番組デ	ィレクター			

対象学	科	映画プロデュース科	科目名	シナリオプランニング		
担当教	 員	渡辺 一久	実	<u></u> 務授業の有無		0
対象コ	ース		対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間
授業概 授業の	要、目的、 進め方	 シナリオ作り ト書き・台詞の書き方 シナリオ作り 				
学習目	目標)	シナリオを元に映像制作が出来	- る			
	ト・教材・参 ・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配ね	,		
回数	1 1 1 2 1 1	<u> </u> 授業項目、内容		学習		· 備考
1	テレビドラマ用シ	· ナリオについて		プリント配布		
2	アニメーション用]シナリオについて		プリント配布		
3	テレビ番組台本に	ついて		プリント配布		
4	ドラマシナリオカ	ら映像を作る基本		プリント配布		
5	ト書きから画コン	テ作成		プリント配布		
6						
7		映像ドラマ15分間シナリオ作成			期日までに提出	
8	授業中	に作成、随時、指導・アドバイ	スあり		朔口よぐに挺田	
9						
10						
11						
12		15分シナリオで映像制作			期日までに提出	
13						
14						
15 16		完成試写会		評価		
	====	<u></u> 파구가 라셀=파/파보 ³			屋板1ヵ字立	
Пф //д . l » —		西方法・成績評価基準	Wh100/		履修上の注意	
成績評価		'像ドラマシナリオ40%、学習意 以上)・B(70点以上)・C(60点以上			でシナリオを書き、尚且 責任を持って参加する引	∃、映像作品として完成 耳。
実務経	経験教員の経歴	映作	象業界現場経験	<u> </u> 食27年、番組デ	ィレクター	
		•				

			当际	次隊 グノイノ 等	111/2
対象学科	映画プロデュース科	科目名	٤	/ナリオプラン <i>=</i>	ニング
担当教員	渡辺 一久	実	務授業の有無		0
対象コース		対象学年	3	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間
受業概要、目的、受業の進め方	1. シナリオ作り 2. 映像になるシナリオ作り				
学習目標 (到達目標)	現場で通用するシナリオ作り。こ	コンペ出展用作品	品のためのシナリオ	├作り	
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	■教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配ね	d		
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
	3年生・4年生合同				
	央画シナリオを作成・および映画制	作	随時	、指導およびチェ、	ックあり
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
				₽ ₩1->+	
	平価方法・成績評価基準			履修上の注意	1
快像完成50%、コンペ出 対績評価基準は、A(80点 下)・D評価を不可とする	原以上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以		『シナリオを書き、尚』 『任を持って参加する』	
実務経験教員の経歴	映像	業界現場経験	<u>■</u> 検27年、番組デ	ィレクター	

2				医隊 クノイノ 等日	111/1/2 2 2
対象学科	映画プロデュース科	科目名	٤	·ナリオプランニ	ング
担当教員	渡辺 一久	美	務授業の有無		0
対象コース		対象学年	4	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1. シナリオ作り 2. 映像になるシナリオ作り				
学習目標 (到達目標)	現場で通用するシナリオ作り。コ	ンペ出展用作	品のためのシナリオ	一作り	
テキスト・教材・教 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	-はその都度配	布		
回数	授業項目、内容		学習	了方法・準備学習	・備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7	3年生・4年生合同				
8	映画シナリオを作成・および映画制作	F	随時	F、指導およびチェッ	, クあり
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
<u> </u>	評価方法・成績評価基準			 履修上の注意	
央像完成50%、コンペb	点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以		『シナリオを書き、尚E 責任を持って参加する事	
		** / / /	<u> </u>	. 1	
実務経験教員の経歴	性 映像	業界現場経	験27年、番組デ	ィレクター	

対象学科	映画プロデュース科	科目名	名 照明			
	五味澤 和宏・小峯	睦男	実務授業の有無			
対象コース		対象学年	1	開講時期	前期・後期	
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	 照明機材の名前、種類、扱 基本的な照明設計の考え方 様々なシチュエーションの 	うを学ぶ		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
学習目標 (到達目標) テキスト・教材・参	監督の意図した世界を表現出来	そる照明スタッフ	7を育成する。			
考図書・その他資料	図解・実践 新版 映像ライティ	ング				
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	習・備考	
1・2 照明基礎			照明機材の種類、	名前を学習する		
3・4 照明基礎Ⅱ			照明機材の種類、	名前を学習する		
5・6 照明基礎Ⅲ			電圧の計算方法を	を学ぶ		
7 ⋅ 8 照明基礎Ⅳ			基本的な照明設調	計の考え方を学ぶ		
9・10 照明基礎実践			基本的な照明設ま	十に基づいて、照明	をセッティングして	
11・12 照明基礎実践			基本的な照明設ま	十に基づいて、照明	をセッティングして	
13⋅14 照明基礎実践Ⅲ			基本的な照明設ま	十に基づいて、照明	をセッティングして	
15・16 映像照明基礎実践	浅		朝の照明を作成してみる			
17·18 映像照明基礎実践	戋		射し込みを表現してみる			
19·20 照明基礎 V			様々な場所の光を	を数値化してみる		
21・22 映像照明基礎実践	戋		夕焼けを作成してみる			
23・24 映像照明基礎実践	浅IV		夜を表現してみる	3		
25・26 映像照明基礎実践	浅 V		感情表現を表して	てみる		
27.28 映像照明基礎実践	浅VI		感情表現を表してみる			
29·30 映像照明基礎実践	戋VII		人物のライティングをしてみる			
31・32 照明実践			学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する			
33.34 照明実践			学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する			
35⋅36 照明実践Ⅲ			学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する			
37⋅38 照明実践Ⅳ			学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する			
39·40 照明実践 V			学んだ照明知識を	を活かして、短編映	像を制作する	
41・42 講評			講評			
43・44 講評			講評			
45・46 講評			講評			
47·48 講評			講評			
<u></u>	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技試験70%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点点 下)・D評価を不可とする。	以上)・B(70点以上)・C(60点以」	上)・D(59点以	果を用いた短編映像	象作品を完成させるこ	目に出席し、かつ音響効 と。 レベルと内容は異なる。	
実務経験教員の経歴	「仮面ライダー	-シリーズ」	 等のCM制作現場	を中心とする照	明技師	

					11 1/2 2 2		
対象学科	映画プロデュース科	科目名		照明			
担当教員	五味澤 和宏・小峯		務授業の有無		0		
対象コース	57 WZ	対象学年	2	開講時期	前期・後期 		
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間		
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 照明機材の名前、種類、扱 2. 基本的な照明設計の考え方 3. 様々なシチュエーションの	を学ぶ					
学習目標 (到達目標)	監督の意図した世界を表現出来	る照明スタッフ	を育成する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	図解・実践 新版 映像ライティン	ング					
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	『・備考		
1・2 照明基礎Ⅰ			照明機材の種類、	名前を学習する			
3・4 照明基礎Ⅱ			照明機材の種類、	名前を学習する			
5・6 照明基礎Ⅲ			電圧の計算方法を	と学ぶ			
7 ・ 8 照明基礎Ⅳ			基本的な照明設計	+の考え方を学ぶ			
9・10 照明基礎実践			基本的な照明設計	十に基づいて、照明	をセッティングして		
11・12 照明基礎実践				†に基づいて、照明	をセッティングして		
13·14 照明基礎実践				†に基づいて、照明	をセッティングして		
15·16 映像照明基礎実践	戋		朝の照明を作成してみる				
17·18 映像照明基礎実践	戋		射し込みを表現してみる				
19·20 照明基礎 V			様々な場所の光を数値化してみる				
21・22 映像照明基礎実践	戋		夕焼けを作成してみる				
23・24 映像照明基礎実践	ŧΙV		夜を表現してみる				
25・26 映像照明基礎実践	戋V		感情表現を表してみる				
27・28 映像照明基礎実践	戋VI		感情表現を表してみる				
29・30 映像照明基礎実践	戋VII		人物のライティングをしてみる				
31.32 照明実践			学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する				
33.34 照明実践			学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する				
35⋅36 照明実践Ⅲ			学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する				
37.38 照明実践Ⅳ			学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する				
39·40 照明実践 V			学んだ照明知識を	を活かして、短編映作	象を制作する		
41・42 講評			講評				
43・44 講評			講評				
45・46 講評	・46 講評			講評			
47・48 講評			講評				
	価方法・成績評価基準	_		履修上の注意	<u> </u>		
実技試験70%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点場下)・D評価を不可とする。	以上)・B(70点以上)・C(60点以上	<u>-</u>)・D(59点以	果を用いた短編映像	象作品を完成させるこ	目に出席し、かつ音響ダ と。 レベルと内容は異なる。		
実務経験教員の経歴	「仮面ライダー	-シリーズ」等	FのCM制作現場	を中心とする照	明技師		

対象学科	映画プロデュース科	科目名	照明			
担当教員	五味澤 和宏・小峯	睦男実	務授業の有無		0	
対象コース		対象学年	3	開講時期	前期・後期	
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 演出に応じた照明設計の考 2. 様々なシチュエーションの 3. 短編~中編映像を制作する	照明を作る				
学習目標 (到達目標)	監督の意図した世界を表現出来	そる照明スタッフで	を育成する。		_	
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	[料はその都度配ね	右			
回数	】		学習	プ方法・準備学習	・備考	
1・2 照明演出基礎			演出に基ずいた照	明の考え方 I		
3 · 4 照明演出基礎Ⅱ			演出に基ずいた照	明の考え方		
5・6 照明演出基礎Ⅲ			撮影スタジオを使	更用し様々な照明演	出方法を学ぶ	
7 · 8 照明演出基礎実践	戋		撮影スタジオを使	使用し様々な照明演	出方法を学ぶ	
9 · 1 0 照明演出基礎実践	戋		撮影スタジオを使	使用し様々な照明演	出方法を学ぶ	
11・12 照明演出基礎実践	戋		デジタル一眼レフ 検証する	'を使用し、様々な'	伏況で撮影・照明を	
13·14 照明演出基礎実践	戋IV		1.1.	'を使用し、様々な	状況で撮影・照明を	
15·16 映像照明基礎実践	戋 l		監督の意図した演出を考え、照明で表現してみる			
17·18 映像照明基礎実践	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		監督の意図した演出を考え、照明で表現してみる			
19・20 映像照明基礎実践	戋		監督の意図した演出を考え、照明で表現してみる			
21·22 照明基礎 V			様々な場所の光を	:数値化してみる		
23·24 照明基礎VI			様々な場所の光を	と数値化してみる		
25・26 映像照明基礎実践	ŧΝ		役者の心理を考え	、照明で表現しての	みる	
27・28 映像照明基礎実践	刬V		役者の心理を考え、照明で表現してみる			
29・30 映像照明基礎実践	ŧVI		役者の心理を考え、照明で表現してみる			
31・32 照明実践			シナリオを基にした短編映像を制作する			
33⋅34 照明実践Ⅱ			シナリオを基にした短編映像を制作する			
35⋅36 照明実践Ⅲ			シナリオを基にし	た短編映像を制作	する	
37.38 照明実践Ⅳ			シナリオを基にし	た短編映像を制作	する	
39·40 照明実践 V			学んだ照明知識を	と活かして、短編映(象を制作する	
41・42 講評			講評			
4 3 · 4 4 講評			講評			
45・46 講評			講評			
47・48 講評			講評			
	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>	
	以上)・B(70点以上)・C(60点以上	上)・D(59点以	果を用いた短編映像	ҟ作品を完成させるこ	目に出席し、かつ音響効 と。 レベルと内容は異なる。	
下)・D評価を不可とする。						
実務経験教員の経歴	「仮面ライダー	-シリーズ」等	のCM制作現場	を中心とする照	明技師	

_						
対象学科 	映画プロデュース科	科目名	照明			
担当教員	五味澤和宏・小峯		務授業の有無	BB 5# 4* 110	<u></u>	
対象コース	.心. //女	対象学年 	4	開講時期	前期・後期 	
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概要、目的、授業の進め方	 1. 演出に応じた照明設計の考 2. 様々なシチュエーションの 3. 短編~中編映像を制作する 	照明を作る				
学習目標(到達目標)	監督の意図した世界を表現出来	る照明スタッフ	を育成する。			
テキスト・教材・考図書・その他資	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配	布			
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考	
1・2 照明演出基礎	I		演出に基ずいた照	照明の考え方 I		
3 · 4 照明演出基礎	II		演出に基ずいた則	照明の考え方Ⅱ		
5・6 照明演出基礎	II		撮影スタジオを値	吏用し様々な照明演	出方法を学ぶ	
7 · 8 照明演出基礎等	実践		撮影スタジオを値	吏用し様々な照明演	出方法を学ぶ	
9・10 照明演出基礎等	実践Ⅱ			吏用し様々な照明演		
11.12 照明演出基礎等	実践Ⅲ		検証する		状況で撮影・照明を	
13·14 照明演出基礎等	実践IV		デジタル一眼レフ 検証する	7を使用し、様々な	状況で撮影・照明を	
15·16 映像照明基礎等	実践		役者の心理を考え、照明で表現してみる			
17·18 映像照明基礎	実践		役者の心理を考え、照明で表現してみる			
19・20 映像照明基礎等	実践Ⅲ		監督の意図した流	寅出を考え、照明で	表現してみる	
21·22 照明基礎 V			様々な場所の光を数値化してみる			
23·24 照明基礎VI			様々な場所の光を数値化してみる			
25・26 映像照明基礎			役者の心理を考え、照明で表現してみる			
27・28 映像照明基礎			役者の心理を考え、照明で表現してみる			
29・30 映像照明基礎	実践Ⅵ ————————————————————————————————————		役者の心理を考え、照明で表現してみる			
31・32 照明実践			シナリオを基にした短編映像を制作する			
33.34 照明実践			シナリオを基にした短編映像を制作する			
35⋅36 照明実践Ⅲ				ンた短編映像を制作 		
37·38 照明実践IV				ンた短編映像を制作 		
39·40 照明実践 V				を活かして、短編映	家を制作する 	
41・42 講評 43・44 講評			講評			
45・46 講評			講評 			
47.48 講評			講評講評			
				 履修上の注意		
実技試験70%、出席率3						
	点以上)・B(70点以上)・C(60点以」	_)·D(59点以		J組み、全ての実習項 象作品を完成させるこ	目に出席し、かつ音響を	
実務経験教員の経	歴 「仮面ライダー	-シリーズ」等	・ FのCM制作現場	を中心とする照		

対象学	科	映画プロデュース科	科目名	Protools		
担当教	員	長谷川 辰也	実利	 努授業の有無		0
対象コ	ース		対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修・	選択	必修	単位数	一 単位時間数 16時間		
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 音響機材の使用方法、名前・ 2. 各種ケーブルの取り扱い、 3. 録音機材を使用し、収録した	取り回しを学ぶ			
学習目 (到達		音の性質を理解し、扱えるよう	になる。			
	ト・教材・参	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布			
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	<mark>・備考</mark>
1	音響基礎実習丨			映像制作における	音の役割、録音のや	うり方を学ぶ
2	音響基礎実習Ⅱ			音との性質、録音技法、マ	イクの仕組み方法、ケーブル	の種類、扱い方法を学ぶ
3	音響基礎実習Ⅲ			録音機材の準備方	法、撤収方法	
4	音響基礎実習IV			ブームの使用方法、レコー	ディング、ミキシング方法を	ぶ学
5	音響基礎実習V スタジオ録音実習					
6	音響基礎実習VI			アフレコ録音実習		
7	音響基礎実習Ⅶ			アフレコ録音実習		
8	音響基礎実習Ⅷ			効果音実習(作成	および、録音、適切	刀な選択方法)
9	音響基礎実習IX			効果音実習(作成	および、録音、適切	刃な選択方法)
10	音響基礎実習X			整音実習(アフレ	コ素材の整音)	
11	音響基礎実習XI			整音実習(アフレ	コ素材の整音)	
12	音響基礎実習Ⅻ			整音実習(アフレ	コ素材の整音)	
13	音響仕上げ実習Ⅰ			ミックスダウンを	行ってみる。	
14	音響仕上げ実習Ⅱ			ミックスダウンを	行ってみる。	
15	音響効果研究I			アカデミー録音賞の作品を	鑑賞し、音がどのような役割	を果たしているかを学習する
16	音響効果研究Ⅱ			アカデミー録音賞の作品を	 鑑賞し、音がどのような役割	を果たしているかを学習する
	評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意	
成績評価	・リティー80%、出 i基準は、A(80点以 不可とする。	上) · B(70点以上) · C(60点以上)		果を用いた短編映像	作品を完成させること	目に出席し、かつ音響効 ≤。
実務紹	経験教員の経歴	イベ	ベント制作会社	サウンドエイ	卜音響技師	

対象学	科	映画プロデュース科	科目名		Protools		
担当教	員	長谷川 辰也	実利			0	
対象コ	ース		対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修・ :	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業概	要、目的、 進め方	1. 様々な演出に応じた音の効: 2. 録音機材を使用し、収録を3. 収録した音声を整音する					
	学習目標 録音部として映像作りに関わり、各部署と連携して短編映像を完成させる。 (到達目標)						
考図書	ト・教材・参・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布				
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考	
1	音響基礎知識 I			ENG、マルチトラック録音	、ワイヤレスマイクの取り扱	ひい。電波法を理解する。	
2	音響基礎知識 II			マルチトラック録	音実践		
3	音響基礎知識Ⅲ			ENG収録実践			
4	効果音実習 I	音実習			アニメーションを使用し、アフレコ、効果音等付けてみる。		
5	効果音実習Ⅱ			アニメーションを使用し、	アフレコ、効果音等付けてみ	る。	
6	効果音実習Ⅲ			アニメーションを使用し、アフレコ、効果音等付けてみる。			
7	録音実習			シナリオから短編			
8	録音実習Ⅱ			シナリオを基に録音機材のう。	機材のセッティング方法、機	材の選定、操作方法の確認を行	
9	録音実践			短編映像制作			
10	録音実践Ⅱ			編集と同時に音素材収集、	整音作業、監督との音設計・	BGM等の打ち合わせを行う	
11	録音実践Ⅲ			編集と同時に音素材収集、	整音作業、監督との音設計・	BGM等の打ち合わせを行う	
12	録音実践IV			整音作業、フォー	リー等仕上げ作業な	を行う	
13	録音実践V			整音作業、フォー	リー等仕上げ作業な	を行う	
14	録音実践VI			整音作業、フォー	リー等仕上げ作業で	<u></u> _	
15	録音実践Ⅶ			整音作業、フォー	リー等仕上げ作業を	を行う	
16	PA実習			音響機材を使用し、マイク	や操作卓のセッティング方法	などを学ぶ。	
	評価方法・成績評価基準 履修上の注意						
収録クオリティー80%、出席率20% 積極的に実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、かつ音響 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ D評価を不可とする。					目に出席し、かつ音響効		
実務経	経験教員の経歴	イベ	ジト制作会社	サウンドエイ	卜音響技師		

対象学科	映画プロデュース科	科目名		Protools			
担当教員	長谷川 辰也		<mark>努授業の有無</mark>		0		
対象コース		対象学年	3 · 4	開講時期	前期・後期		
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間		
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 様々な演出に応じた音の効: 2. 録音機材を使用し、収録を記 3. 収録した音声を整音する						
学習目標 (到達目標)	録音部として映像作りに関わり、	、各部署と連携して	て短編映像を完成さ	びせる。			
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布					
回数	授業項目、内容		学習	[]] 方法・準備学習	・備考		
1 2 オレーション収録 3			他学科のナレーシ	ョン授業の収録			
4 5 ヴォーカル収録 6			他学科のナレーシ	ョン授業の収録			
7 8 楽器収録 9			他学科のナレーシ	ョン授業の収録			
10 11 アニメアフレコ① 12)収録		他学科のナレーシ	ョン授業の収録			
13 14 アニメアフレコ② 15)収録		他学科のナレーシ	ョン授業の収録			
16 筆記テスト							
評	評価方法・成績評価基準				t		
収録クオリティー50%、筆記テスト40%、出席率10% 積極的に実習に取り組み、全て 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ D評価を不可とする。					目に出席し、かつ音響効		
実務経験教員の経歴	イベ	ベント制作会社	サウンドエイ	卜音響技師			

対象学科	映画プロデュース科	科目名	編集		
担当教員	榎本 昭紀	実	・ 務授業の有無		0
対象コース		対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	1. Macintoshの操作方法を知る 2. Final Cut Proの操作方法を 3. Final Cut Proで映像制作を行	学ぶ			
学習目標	ノンリニア編集の基礎を踏まえ、			Final Cut Proの使い	方を学習する。他の
(到達目標)	技術パートとの関連性を学び、約	編集の重要性を意 	識する。 		
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布			
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考
1・2 Macintosh操作基	礎		Macintoshの操作	方法、アカウントを	作成してみる
3・4 ノンリニア編集基			Final Cut Proの基 成、データ管理等		やぶ(各機能、画面構
5・6 ノンリニア編集基				本的な操作方法を覚	やぶ(各機能、画面構
7・8 ノンリニア編集基	<u>-</u> 礎Ⅲ			基本的な操作方法を覚	やぶ(各機能、画面構
9・10編集基礎			カット、シーンの		
11.12 編集基礎			カット、シーンの)繋ぎ方を学ぶ	
13·14 編集基礎Ⅲ			Final Cut Proを使	戸用した音の整音方法	生を学ぶ
15 · 16 編集基礎Ⅳ			モーションを使用	引したタイトルロゴを	作成してみる
17·18 編集基礎 V			モーションを使用	引したタイトルロゴを	作成してみる
19・20 編集実践			短編映像制作(揖	录》)	
21・22 編集実践			短編映像制作(揖	景彩)	
23.24 編集実践			短編映像制作(編	集)	
25.26 編集実践Ⅳ			短編映像制作(編	集)	
27·28 編集実践 V			短編映像制作(編	集)	
29·30 編集実践VI			短編映像制作(オ		
31·32 編集実践VII			仕上げ:編集データの書出し、カット・リスト作成、コンフォーム、グレーディング		
3 3 · 3 4 3 5 · 3 6 3 7 · 3 8					
39·40 撮影授業で使用し 41·42 43·44	た素材としてCM・PVとして編集		10作品提出		
4 7 · 4 8					
評	 価方法・成績評価基準			 履修上の注意	
	35%、出席率30% (上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・			に出席し、短編映像作
D評価を不可とする。		- 114 (77)			
実務経験教員の経歴	人 農水協 産	É 業用ドローン	の指導員、ドロ	コーンパイロット	

対象学科	映画プロデュース科	科目名		編集	
担当教員	榎本 昭紀		<u> </u> 務授業の有無	1	0
<u>対象コース</u>		対象学年	2	開講時期	<u>-</u> 前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間
授業概要、目的、 授業の進め方	 Final Cut Proの効率的な編 ドローンを使用した空撮実 他の技術パートとの関連性 	習			
学習目標 (到達目標)	ノンリニア編集の基礎を踏まえ 技術パートとの関連性を学び、			Final Cut Proの使い	方を学習する。他の
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布			
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考
1・2 編集基礎			 ノンリニア編集 <i>の</i>)復習	
3・4編集実践Ⅱ			践してみる。		加率的な編集方法を実 加率的な編集方法を実
5・6 編集実践Ⅲ			践してみる。		
7 ・ 8 編集実践Ⅳ			学生が撮影した明 践してみる。	∜塚素材を使用し、☆	か率的な編集方法を 集
9 · 1 0 編集実践 V)まで行い、納品出来	そるよう映像作品を
11.12 空撮実習			ドローンを使用し	た空撮実習	
13・14 編集実践(応用)	編) I		エフェクトを使用	目したタイトル制作、	動画加工を学ぶ
15.16 編集実践(応用	編) II		エフェクトを使用	引したタイトル制作、	動画加工を学ぶ
17·18 編集実践(応用	7 · 1 8 編集実践(応用編)Ⅲ		エフェクトを使用	引したタイトル制作、	動画加工を学ぶ
19・20 編集実践(応用	編)IV		修了制作で作成した映像作品の予告編を制作する。		
21.22 編集実践(応用)	編) V		修了制作で作成し	た映像作品の予告線	幕を制作する。
23.24 編集実践(応用	編)VI		修了制作で作成し	ンた映像作品の予告線 	幕を制作する。
25.26 短編映像制作			短編映像制作を行	立う。	
27・28 短編映像制作Ⅱ			短編映像制作を行	売う。	
29・30 短編映像制作Ⅲ			短編映像制作を行う。		
31·32 短編映像制作IV			短編映像制作を行	う う。	
3 3 · 3 4 3 5 · 3 6 3 7 · 3 8 3 9 · 4 0	」 ナ 主 ナ レ レ マ ド ニ つ レ レ マ <i>t y</i> 10 名	€	10作品提出		
4 1 · 4 2 4 3 · 4 4 4 5 · 4 6	した素材としてドラマとしてを編身	Ę	1 0 7 6 四 按 面		
47 · 48					
章			<u> </u>	 履修上の注意	
				,	
	以上) · B(70点以上) · C(60点以上))・D(59点以下)・		月組み、全ての実習項目 ☆完成させ提出すること	
実務経験教員の経歴	豊水協	主業田ドローン	<u> </u> の指道員 ドロ	コーンパイロット	

対象学科	映画プロデュース科	科目名	編集		
担当教員	榎本 昭紀	実	- 務授業の有無		0
対象コース		対象学年	3	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間
授業概要、目的、 授業の進め方 一 学習目標	 Final Cut Proの効率的な編 ドローンを使用した空撮実 他の技術パートとの関連性 	習 を学ぶ	□n /布生 //- セ . 高 ・ ~	Final Cut Dra (小生)。	ナな 労羽 ナフ (4 の
(到達目標)	ノンリニア編集の基礎を踏まえ、 技術パートとの関連性を学び、			Final Cut Proの使い	力を子省する。他の
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資				
回数			学習		 ・備考
1・2編集実践				月したFinal Cut Proで	での効率的な編集方法
3・4 編集実践			を学ぶ(操作) 学生が撮影した明	快像素材を使用し、効	加率的な編集方法を実
			践してみる。 学生が撮影した 時	快像素材を使用し、効	加率的な編集方法を実
5・6 編集実践			践してみる。 学生が撮影した照	映像素材を使用し、 ※	加率的な編集方法を実
7・8 編集実践Ⅳ			践してみる。		
9·10 編集実践 V			仕上げ、オーサリ	リング、書出し、コヒ	<u>^</u>
11.12 空撮実習			ドローンを使用し	た空撮実習	
13・14 編集実践(応用編	ā) l		クロマキー、エフ う(ドラマ、CM		高度な映像制作を行
15・16 編集実践(応用編	ā)			フェクト等を使用し、	高度な映像制作を行
17·18 編集実践(応用編			クロマキー、エフ	フェクト等を使用し、	高度な映像制作を行
19・20 短編・中編映像制			う(ドラマ、CM 中編・長編映像制		
21・22 短編・中編映像制			 中編・長編映像制	 川作を行う。	
23・24 短編・中編映像制			中編・長編映像制作を行う。		
 25·26 短編・中編映像制	 作IV		中編・長編映像制作を行う。		
27·28 短編・中編映像制			 中編・長編映像制	 川作を行う。	
29・30 短編・中編映像制]作VI		 中編・長編映像制	 川作を行う。	
31・32 短編・中編映像制			中編・長編映像制	 &制作を行う。	
33.34	311 ***			JII 613 7 0	
35 · 36					
37·38 39·40 撮影授業で使用し 41·42	た素材として映画としてを編集		2作品提出		
43 · 44					
45.46					
47.48					
評·	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
作品提出35%、映像完成度 成績評価基準は、A(80点以	35%、出席率30% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下)・		組み、全ての実習項目 :完成させ提出すること	,
D評価を不可とする。					
実務経験教員の経歴	農水協商	産業用ドローン	の指導員、ドロ	コーンパイロット	

対象学科	映画プロデュース科	科目名	編集		
担当教員	榎本 昭紀	実	<u>・</u> 務授業の有無		0
対象コース		対象学年	4	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	 Final Cut Proの効率的な編集 ドローンを使用した空撮実 他の技術パートとの関連性 	習 を学 <i>ぶ</i>	: (1 ± 1/2 ± 1 1 1 1 ± 1 × 2 × 1 ± 1 ± 1		
学習目標	ノンリニア編集の基礎を踏まえ、 技術パートとの関連性を学び、A			Final Cut Proの使い	方を学習する。他の
(到達目標) テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料				
回数			学習	 習方法・準備学習	 '・備考
1・2編集実践				用したFinal Cut Proで	での効率的な編集方法
3・4 編集実践			を学ぶ(操作) 学生が撮影した明	央像素材を使用し、効	加率的な編集方法を実
			践してみる。 学生が撮影した明	央像素材を使用し、郊	加率的な編集方法を実
5 ⋅ 6 編集実践Ⅲ			践してみる。		加率的な編集方法を実
7・8 編集実践Ⅳ			子生が撮影した。 践してみる。	太郎系例で 民用し、%	が行うな補来が広で天
9·10 編集実践 V			仕上げ、オーサ!	リング、書出し、コヒ	<u>~</u> —
11.12 空撮実習			ドローンを使用し	した空撮実習	
13·14 編集実践(応用編	ā)		クロマキー、エフ う(ドラマ、CM		高度な映像制作を行
15.16 編集実践(応用編	<u> </u>		クロマキー、エフ	フェクト等を使用し、	高度な映像制作を行
┃	17.18 編集実践(応用編)			フェクト等を使用し、	高度な映像制作を行
19・20 短編・中編映像制			う(ドラマ、CM 中編・長編映像制		
21・22 短編・中編映像制			中編・長編映像制		
23・24 短編・中編映像制			中編・長編映像制作を行う。		
25・26 短編・中編映像制			中編・長編映像制作を行う。		
27・28 短編・中編映像制			中編・長編映像制		
29・30 短編・中編映像制					
			中編・長編映像制作を行う。 中編・長編映像制作を行う。		
31・32 短編・中編映像制	JYF VII		中編・長編映像制 	別作を仃つ。 	
3 5 · 3 6 3 7 · 3 8					
39·40 撮影授業で使用し 41·42 43·44	た素材として映画としてを編集		2作品提出		
45.46					
47 · 48					
[] 言平·	 価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u>.</u>
作品提出35%、映像完成度	35%、出席率30%		積極的に実習に取り	リ組み、全ての実習項目	に出席し、再現映像
成績評価基準は、A(80点り D評価を不可とする。	人上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・		た完成させ提出すること	,
実務経験教員の経歴	農水協産	産業用ドローン	の指導員、ドロ	コーンパイロット	

		,			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1 テス・ノハハ
対象学	科	映画プロデュース科	科目名		配信	
担当教		菅家 将次		務授業の有無 「		0
対象コ		5.77	対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修・	選択	必修	単位数 	_	単位時間数	16時間
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 配信機材の名前、種類、扱い 2. 基本的な配信システムの考え 3. イベント等の配信を行ってる	え方を学ぶ			
	標 目標)	学生自身で配信のイベント企画、	実施			
テキス	ト・教材・参	教科書は使用しない、必要な資料	料けその郑度配布			
	・その他資料		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	T		
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	習・備考
1	配信基礎 I			配信機材の種類、	名前を学習する	
2	配信基礎Ⅱ			配信機材の仕組み	、使用方法を学習 ⁻	する
3	配信基礎Ⅲ			配信設備の組み立	 てを行う	
4	配信基礎IV			WEB配信に必要な	よ基礎的知識を学ぶ	
5	配信基礎V			配信に必要なソフ	トウェアの知識を行	导る
6	配信基礎VI			配信に必要なソフ	トウェアの知識を行	导る
7	配信基礎VII				トウェアの知識を行	
8	配信基礎実践Ⅰ			基本的な配信設計 てみる	に基づいて、配信	設備をセッティングし
9	配信基礎実践Ⅰ			配信イベントを企	— <u>———</u> 画する I	
10	配信基礎実践Ⅰ			配信イベントを企	画するⅡ	
11	配信基礎実践Ⅰ			企画したイベント	の配信を行う	
12	配信基礎Ⅱ			機材を複数用いた	配信機材の仕組み、	使用方法を学習する
13	配信基礎Ⅱ			機材を複数用いた	配信機材の組み立っ	てを行う
14	配信基礎Ⅱ			複数の機材を使用	した、配信ワークの	の基礎を学ぶI
15	配信基礎Ⅱ			複数の機材を使用	した、配信ワークの	の基礎を学ぶⅡ
16	配信基礎実践Ⅱ			配信設計に基づい	て、配信設備をセ	ッティングしてみる
	評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
成績評価	₹70%、出席率30% 5基準は、A(80点り 平価を不可とする。	(上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以	16回すべての授業に	: 出席し、イベントの:	企画配信を行う事
実務紹	 経験教員の経歴	新	湯での様々な	<u> </u> イベント、配信	スタッフ	
> < 3/3/1/12	_ 3,3,7,7 - 1,1111	7191	2 - 100 000			

<i>E</i>				1		
対象学		映画プロデュース科	科目名		配信	
担当教		菅家 将次		務授業の有無 T		O
対象コ		N. list.	対象学年 	2	開講時期	前期・後期
必修・	選択 	必修	単位数	_	単位時間数	16時間
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 配信機材の名前、種類、扱い 2. 基本的な配信システムの考え 3. イベント等の配信を行ってる	え方を学ぶ			
学習目		学生自身で配信のイベント企画、	実施			
	ト・教材・参	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布			
回数				学習	 ¹ 方法・準備学習	 習・備考
1	配信 (応用)			配信機材の仕組み	、使用方法を学習 [・]	する
2	配信Ⅱ(応用)			配信設備の組み立	てを行う	
3	配信Ⅲ(応用)			WEB配信に必要な	: 基礎的知識を学ぶ	
4	配信IV(応用)			配信に必要なソフ	トウェアの知識を行	导る
5	配信V(応用)			配信に必要なソフ	トウェアの知識を行	导る
6	配信実践丨			実践的な配信設計	に基づいたセッテ	ィング
7	配信実践Ⅱ			配信イベントを企	画するI	
8	配信実践Ⅲ			配信イベントを企	画するI	
9	配信実践Ⅳ			配信イベントを企	画するⅡ	
10	配信実習Ι(応用	3)		機材を複数用いた	配信機材の仕組み、	使用方法を学習する
11	配信実習Ⅱ(応用	3)		機材を複数用いた	配信機材の組み立っ	てを行う
12	配信実習Ⅲ(応用	3)		複数の機材を使用	した、配信ワークの	の基礎を学ぶ
13	配信実習IV(応用	(1)		配信設計に基づい	て、配信設備をセ	ッティングしてみる
14	配信実習V(応用	3)		配信イベントを企	画する	
15	配信実習VI(応用	3)		企画したイベント	の配信を行う	
16	単位認定試験					
17						
18						
19						
20						-
	評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
成績評価	記談70%、出席率 i基準は、A(80点り 評価を不可とする。	30% (上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以	16回すべての授業に	:出席し、イベントの:	企画配信を行う事
実務経	経験教員の経歴	新	湯での様々な	<u> </u> イベント、配信	スタッフ	

<u>U</u>		,			八郎ハノイノ 子!	
対象学	科 ———————	映画プロデュース科	科目名	配信		
担当教	 員	菅家 将次	実	実務授業の有無		0
対象コ			対象学年	3 • 4	開講時期	前期・後期
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間
	要、目的、 進め方	1. 配信機材の名前、種類、扱い 2. 基本的な配信システムの考え 3. イベント等の配信を行ってみ	え方を学ぶ			
学習目 (到達		学生自身で配信のイベント企画、	実施			
	ト・教材・参	教科書は使用しない、必要な資料	科はその都度配布	ī		
回数		L		学習		冒・備考
1 2	配信動画の制作①)		作品内容は自由、ただし尺は30分とする		
3	①作品の配信					
3 4						
 5	配信動画の制作②)		作品内容は自由、ただし尺は30分とする		
6	②作品の配信					
7	 配信動画の制作③)		作品内容は自由、ただし尺は30分とする		
8						
9	③作品の配信					
10	音楽ライブ配信			生配信の実施		
11						
12	音楽ライブ配信			生配信の実施		
13						
14	NA 20 - 0 - 0 - 0			d ** 2/= ''		
15	演劇ライブ配信			生配信の実施		
16						
	 評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
実技試験	₹40%、出席率30%	、その他配信実績30%			- 1 10	
	5基準は、A(80点り 呼価を不可とする。	以上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以	3年生・4年生の合同授業以外のライブ配	司授業 B信なども成績評価と「	、ます。
実務紹		新	潟での様々か	<u> </u> イベント、配信	スタッフ	

(2)

国際映像メディア専門学校 シラバス

授 学 学 学 子 学 四 大 男 四 大 男 四 大 の 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	ース 選択 要、目的、 度め方 票 書標・教材・参 ・その他資料 発想トレーニング 発想・サローニング 発像研究 企画	広川 一義 必修 1. 柔軟な発想力を鍛える 2. 発想したものを、企画書にまとめたものを映信 多くの人に見てもらえる映像を会 教科書は使用しない、必要な資料 授業項目、内容	対象学年単位数まとめる象にしてみる企画し、形に出来		開講時期 単位時間数	○ 前期・後期 32時間 can 32時間
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	選択 要、目的、 進め方 票 書標) ト・教材・参 ・その他資料 発想トレーニング 映像研究 企画	1. 柔軟な発想力を鍛える 2. 発想したものを、企画書にまる。企画書にまとめたものを映像を含めた見てもらえる映像を含数科書は使用しない、必要な資料では、必要な資料である。	単位数まとめる象にしてみる	ー 一 る。CMの企画かり	単位時間数	32時間
授授 学(テ考回 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	要、目的、 生め方 票 書標) ト・教材・参 ・その他資料 発想トレーニング 映像研究 企画	1. 柔軟な発想力を鍛える 2. 発想したものを、企画書にまる。企画書にまとめたものを映像を含めた見てもらえる映像を含数科書は使用しない、必要な資料では、必要な資料である。	まとめる 象にしてみる 企画し、形に出来			
授 学 学 学 子 学 四 大 男 四 大 男 四 大 男 四 大 の 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	生め方 票 目標) ト・教材・参 ・その他資料 発想トレーニング 映像研究 企画	2. 発想したものを、企画書にまる。企画書にまとめたものを映像を含めた見てもらえる映像を含数科書は使用しない、必要な資料	象にしてみる		う制作、納品方法まで	で出来るようになる。
(到達目 テキス 考図数 1 2 3 4 1 5 6 7 8 8 9 8	目標) ト・教材・参 ・その他資料 発想トレーニング 映像研究 企画 企画 II	教科書は使用しない、必要な資料 授業項目、内容			ーーー ら制作、納品方法まで	で出来るようになる。
テキス 考図書 回数 1 多 2 日 3 1 4 1 5 1 6 1 7 終 8 終 9 終 10 情	目標) ト・教材・参 ・その他資料 発想トレーニング 映像研究 企画 企画 II	教科書は使用しない、必要な資料 授業項目、内容			の向TF、桝四刀広まり	で田木のようになる。
考図書 回数 1	・その他資料 発想トレーニング 映像研究 企画 企画 II	授業項目、内容	料はその都度配布			
回数 1	・その他資料 発想トレーニング 映像研究 企画 企画 II	授業項目、内容	イは C O IP/文 ID III			
1	映像研究 企画 企画					
2 H 3 1 4 1 5 1 6 1 7 # 8 # 9 #	映像研究 企画 企画			学	習方法・準備学習	・備考
3 1 4 1 5 1 6 1 7 8 8 8 9 8	企画			1つのキーワードからど	れだけ連想出来るかをトレーニ	ングする
4 1 5 1 6 1 7 8 8 8 9 8 10 ft	企画Ⅱ			CMの種類、トレンドを研	开究する	
5 1 6 1 7 8 8 # 9 #				1つのテーマを決め、内	容にそった企画内容を考えプレ	ゼンテーションを行う
6 1 7	A			プレゼンテーションした	内容の修正、および新案の提案	を行う
7	企画Ⅲ			プレゼンテーションした	内容の修正、および新案の提案	を行う
8 # 9 # 10 #	企画IV			プレゼンテーションした	内容の修正、および新案の提案	を行う
9 10 #	絵コンテ制作実習	1		企画内容にそった絵コン	テ制作(絵コンテの書き方基礎	ž)
10 #	絵コンテ制作実習	II		企画内容にそっ7	た絵コンテ制作Ⅱ	
	絵コンテ制作実習	III		企画内容にそっ7	た絵コンテ制作Ⅲ	
11 #	制作実習 I			企画内容から、技	最影場所、キャスト、	予算等を決める
	制作実習Ⅱ			撮影場所、キャスト、予	算等の調整、交渉、許可取りを	:行う
12	制作実習Ⅲ			撮影スケジュー	レを決める	
13 ł	撮影実習丨			企画にそった撮影	影を行う	
14 ±	撮影実習Ⅱ			企画にそった撮影	影を行う	
15	編集実習丨			撮影した素材を終	編集し、仕上げを行う	5
16	編集実習Ⅱ			撮影した素材を終	編集し、仕上げを行う	5
17	編集実習Ⅲ			撮影した素材を終	編集し、仕上げを行う	5
18	編集実習IV			撮影した素材を終	編集し、仕上げを行う	5
19	編集実習V			撮影した素材を終	編集し、仕上げを行う)
20 1	作品制作① 商品			対象商品のCM制]作について企画書制	作
21 1	作品制作① 商品			画コンテ・台本化	作成	
22 1	作品制作① 商品			撮影・編集・MA	1	
23 1	作品制作② 企業			対象企業のCM制]作について企画書制	作
24 1	作品制作② 企業			画コンテ・台本化	作成	
25 1	作品制作② 企業			撮影・編集・MA	1	
26 1	作品制作③ イメ・	ージCM		イメージCM制作	について企画書制作	
27 1	作品制作③ イメ・	ージCM		画コンテ・台本化	作成	
28 1	作品制作③ イメ・	ージCM		撮影・編集・MA	1	
29 1	作品制作① 情報	CM		情報CM制作につ	いて企画書制作	
30 1	作品制作② 情報	CM		画コンテ・台本化	作成	
31 1	作品制作③ 情報	CM		撮影・編集・MA	1	
32	講評			講評		
<u>, </u>	評値	西方法・成績評価基準			履修上の注意	<u>.</u>
成績評価基		%、出席率30% 上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・	嫌いでは無く、仕		「実習に臨む。人の好き に取り組み、全ての実習 口する事。
D評価を不 	下可とする。			1		
実務経				<u> </u>		

(吹 像 グ ノ イ ノ 寺 に	1子似 ノノハ
対象学	科	映画プロデュース科	科目名		ビジネス著作権	
担当教	員	神田幸司	実	務授業の有無		×
対象コ	ース		対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間
	要、目的、 進め方	1. 著作権の基本的知識習得を 2. 前期、教科書中心に授業を 3. 実際の判決例などを取り入	行い、後期は問題			
学習目 (到達		1. 著作権の基本的知識が理解	出来る。 2. ビシ	ジネス著作権BASIC	合格を目指す。	
	スト・教材・参 書・その他資料	ビジネス著作権検定公式テキス	ト(ウイネット)	ビジネス著作権権	剣定初級問題集(サ ・	ーティファイ)
回数		授業項目、内容		学習	冒方法・準備学習	・備考
1	著作権とは何か				・著作権の性質・著作	F権法の目的
2	著作権で保護され	るもの		著作物の定期・著作物該当 著作物の例示・特別な著作	i性に関するその他の問題点 ■物 教科書P1~P19	
3	著作権は誰が持つ)		著作者の定義・著作者の例外・著作者と著作権者 教科書P23~29		
4	著作権の内容 1			著作権の内容・著作者人格 書P31~P41	8権・公表権・氏名表示権・同	一性保持権・一身専属性 勃
5	著作権の内容 2			財産権の内容・複製権・上 次的著作権 教科書P43	演権及び演奏権、上映権・公 ~P59	衆送信権・貸与権、譲渡権、
6	著作権は誰が持つ	いつまで保護される		著作権の始期・著作権の保 教科書P63~P69		
7	他人の著作物は勝	手に使えない		著作権の譲渡・利用許諾・ 教科書P73~P77	契約	
8	勝手に使える場合	がある		権利制限規定・私的使用・不随的著作物・教育・図書・非営利無償の上演、演奏・引 転載 教科書P83~P101		
9	著作物を伝達する	者を保護する制度		著作隣接権(実演家)(レコード製作者)(放送事業者・有線放送事業者)・隣接権 護期間 教科書P117~P129 著作権の侵害・みなし侵害・著作権侵害罪・民事的対策 教科書P133~P145		
10	勝手に使うとどう	なるか				
11	著作権に関する関			知的財産権制度・情報モラ	ルと著作権	
12	産業財産権とは			教科書P149~P155 特許権・実用新案権・意匠	権・商標権	
13	ビジネスと法・著	 作物に関する基礎知識・著作者 &	<u></u> とは	プリント配布 問題集P8~P 1 7	確認テストおよび解答	 ト・解説
14	著作者の権利・著		できる例外	問題集P18~P3	 2 確認テストおよびタ	解答・解説
15	著作権の変動・著	作権の侵害と権利救済・著作権活	 法とその周辺	問題集P33~P4	0 確認テストおよび	 解答・解説
16	模擬試験(過去問	題より重要部分を出題)		答え合わせおよび解	建 建説	
		価方法・成績評価基準 価方法・成績評価基準			履修上の注意	
成績評価)%、確認テスト合計点20%、学行 (上)・B(70点以上)・C(60点以上)		を目指すことはもち	態度次第では検定受験。 ろんですが、芸能ビシ と理解に努めること。	^ジ ネスでは重要な知識
実務紹						

対象学科		映画プロデュース科	科目名		PC&Webリテラ:	シー	
担当教員		神田 幸司	実	務授業の有無		×	
対象コース			対象学年	1 · 2	開講時期	前期・後期	
必修・選択		必修	単位数	_	単位時間数	32時間	
授業概要、[授業の進め7		1. 情報リテラシーに関する知識 2. パソコンに関する基礎知識 3. アプリケーションに関する					
学習目標		PC,SNSに関する基礎知識					
(到達目標)	1	ビジネスソフトを中心に基礎使用	用方法				
テキスト・ 考図書・そ		プリント配布					
回数 授業項目、内容			学習		・備考		
1・2 情報!	リテラシー			情報を正しく選択	己解釈する		
3・4 情報!	リテラシー			ネット使用の注意	点点		
5 · 6 Twitte	erについて			セルフプロモーシ	/ョン活用法		
7 · 8 Instag	7 · 8 Instagram			セルフプロモーション活用法			
9 · 10 Youtu	9·10 Youtube			セルフプロモーシ	/ョン活用法		
11・12 ソフロ	ト(Word)			文章作成			
13・14 ソフロ	ト(Word)			文章作成			
15・16 ソフロ	ト (Excel)			表計算			
17・18 ソフロ	ト (Excel)			表計算			
19・20 ソフロ	ト(PowerPo	pint)		プレゼンテーション			
21・22 ソフロ	ト(PowerPo	pint)		プレゼンテーション			
23・24 フリ-	-ソフト紹介	および使用方法①		画像・動画			
25・26 フリ-	-ソフト紹介	および使用方法②		画像・動画			
27・28 フリ-	-ソフト紹介	および使用方法③		画像・動画			
29・30 フリー	-ソフト紹介	および使用方法④		音楽・サウンド編	集		
31・32 フリー	-ソフト紹介	および使用方法⑤		音楽・サウンド編集			
		 価方法・成績評価基準			 履修上の注意	<u>.</u>	
		題提出50%、学習意欲10%					
	は、A(80点以	.上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以上)・		使用出来るフリーソフ 共有しましょう!	/ トは授業内で教えて	
実務経験教	.員の経歴						

		•		T	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , , , , ,
対象学科		映画プロデュース科	科目名		PC&Webリテラ	シー
担当教員		神田 幸司	実	務授業の有無		×
対象コース			対象学年	3 • 4	開講時期	前期・後期
必修・選択		必修	単位数	_	単位時間数	32時間
授業概要、 授業の進め		ソフト・アプリケーションを使用1. 画像・動画関係2. 音楽・音響関係3. その他(CAD、イラスト・				
学習目標 (到達目標))	様々なソフト・アプリケーション	ンを使用したコン	テンツ作成が可能な	な人材育成	
テキスト・考図書・そ		プリント配布				
回数		学習	習方法・準備学習	・備考		
1・2 画像	・イラストソ	/ フトについて①		illustrator · photo	oshop	
3・4 画像	・イラストソ	/フトについて②		illustrator · photo	oshop	
5・6 画像	・イラストソ	/フトについて③		illustrator · photoshop		
7・8 画像	・イラストソ	プトについて④		illustrator · photoshop		
9・10 動画ソフトについて①			Final Cut Pro			
11・12 動画	ソフトについ	172		Final Cut Pro		
13・14 動画	ソフトについ	NT(3)		Final Cut Pro		
15・16 動画	ソフトについ	17(4)		Final Cut Pro		
17・18 レコ	ーディングソ	フトについて①		Protools		
19・20レコ	ーディングソ	フトについて②		Protools		
21・22 レコ	ーディングソ	フトについて③		Protools		
23・24 レコ	ーディングソ	フトについて④		Protools		
25・26 アニ	メーション制]作		フリーソフト活用		
27・28 アニ	メーション制	小		フリーソフト活用		
29・30 アニ	メーション制	小		フリーソフト活用	1	
31・32 アニ	ニメーション	ン制作		フリーソフト活用	l	
	=====================================	価方法・成績評価基準 			履修上の注意	
	は、A(80点り	題提出50%、学習意欲10% (上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以上)・		使用出来るフリーソフ 共有しましょう!	'トは授業内で教えて
実務経験教	 対員の経歴					

対象学	 科	映画プロデュース科	—————————————————————————————————————		ファシリテーシ	ョン
担当教		矢頭 勲		┃ 務授業の有無		
対象コ		八與 恕	対象学年	が 1	開講時期	<u>^</u> 前期・後期
必修・		必修	単位数	_	単位時間数	16時間
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 聞く・話すを円滑に行う知 2. 敬語(丁寧語・謙譲語・尊 3. 場に応じた正しい対応力を	敬語)を理解する			
学習目		社会人に向けてのコミュニケー を得る。	ション能力の必要	性を理解し、仕事	などの場で、人間関	係を構築出来る知識
	スト・教材・参 書・その他資料	参考書「サーティファイ主催	コミュニケーショ	ン能力検定初級」	(問題集含む)	
回数	回数		学習	習方法・準備学習	・備考	
1	コミュニケーションとは?			P2 コミュニケ-	-ションの必要性を	考える
2	聞く力			P6~P9 目的に	即して聞く	
3	聞く力			P10~P14 傾聴	・質問する	
4	話す力			P15~P17 目的を意識する		
5	話す力			P18~P22 話を	組み立てる	
6	話す力		P23~P29 言葉	を選び抜く		
7	話す力			P30~P35 表現	・伝達する	
8	実践基礎1			P36~P39 来客	忘対	
9	実践基礎2			P40~P43 電話応対		
10	実践基礎3			P44~P48 アポイントメント・訪問・挨拶		
11	実践基礎4			P49~P54 情報共有の重要性		
12	実践基礎5			P55~P59 チーム・コミュニケーション		
13	実践応用1			P60~P65 接客・営業		
14	実践応用2			P66~P71 クレ	ーム対応	
15	実践応用3			P72~P77 会議	・取材・ヒヤリング	
16	実践応用4			P78~P83 面接		
	上	 価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u>-</u>
成績評価		5%、実技試験25%、学習意欲109 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)		たコミュニケーショ		また、特に必要と感じ か進めて行くことで、よ がしてください。
実務紹	経験教員の経歴					

対象学	科	映画プロデュース科	科目名		作品制作		
担当教	—————————————————————————————————————	広川 一義	実利	務授業の有無 ○			
対象コ	ース		対象学年	1	開講時期	前期・後期	
必修・:	選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 毎週短編映像制作を実施 2. 映像を通してのアウトプッ 3. 制作プロセスの経験と発表	トを学ぶ				
学習目:		全期授業の集大成としての映像化	作品の制作および ₋	上映会作品のクオ!	リティアップ		
	ト・教材・参・その他資料	映像制作に必要なテープ、画コ	ンテ用紙などは配っ	布します。			
日数 (7コマ)		授業項目、内容		学習	計方法・準備学習	当・備考	
1·2 制作実践 (短編)			企画・撮影・編集	・MA・講評			
3 · 4	制作実践Ⅱ(短編			企画・撮影・編集	・MA・講評		
5 · 6	制作実践Ⅲ(短編	3)		企画・撮影・編集	・MA・講評		
7 · 8	制作実践IV(短編	3)		企画・撮影・編集・MA・講評			
9 · 1 0	制作実践Ⅰ(課題	<u>(</u>)		企画・撮影・編集	・MA・講評		
11 · 12	制作実践Ⅱ(課題			企画・撮影・編集	・MA・講評		
13 · 14	制作実践Ⅲ(課題			企画・撮影・編集	・MA・講評		
15 · 16	制作実践I(短編	・中編)		企画・撮影・編集・MA・講評			
17~47	制作実践Ⅱ(短編	・中編)		企画・撮影・編集・MA・講評			
48	発表			講師および、外部ゲストを招いての講評会			
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	 意	
成績評価		捗状況20%、学習意欲30% (上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下)・	最後まで行う事。		がら、自分自身の役割を く外部評価を受ける事。	
	- うこうで。 - 経験教員の経歴	映像制作	作プロダクショ	<u> </u> ンにて10年番約	組制作に携わる		

対象学科 映画プロデュース科 科目名				作品制作			
担当教	具 具	広川 一義	実利	務授業の有無			
対象コ	ース		対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 毎週短編映像制作を実施 2. 映像を通してのアウトプット 3. 制作プロセスの経験と発表	、を学ぶ				
学習目 (到達		全期授業の集大成としての映像化	乍品の制作および <u>.</u>	上映会作品のクオ!	リティアップ		
	ト・教材・参	映像制作に必要なテープ、画コ	ンテ用紙などは配?	布します。			
日数 (7コマ)		授業項目、内容		学習	『方法・準備学習	当・備考	
1·2 制作実践 (短編)			企画・撮影・編集	・MA・講評			
3 · 4	制作実践Ⅱ(短編	j)		企画・撮影・編集	・MA・講評		
5 · 6	制作実践Ⅲ(短編			企画・撮影・編集	・MA・講評		
7 · 8	制作実践IV(短編			企画・撮影・編集・MA・講評			
9 · 1 0	制作実践 I (課題			企画・撮影・編集	・MA・講評		
11 · 12	制作実践Ⅱ(課題			企画・撮影・編集	・MA・講評		
13 · 14	制作実践Ⅲ(課題			企画・撮影・編集	・MA・講評		
15 · 16	制作実践 (短編	・中編)		企画・撮影・編集	・MA・講評		
17~47	制作実践 II (短編	・中編)		企画・撮影・編集・MA・講評			
48	発表			講師および、外部ゲストを招いての講評会			
	評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意	 言	
成績評価	i基準は、A(80点以	捗状況20%、学習意欲30% (上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・	最後まで行う事。		がら、自分自身の役割を	
D評価を	不可とする。						
実務経	経験教員の経歴	映像制作	ー 乍プロダクショ	ンにて10年番約	 狙制作に携わる		

対象学科	映画プロデュース科	科目名		作品制作		
担当教員	広川 一義	実	務授業の有無		0	
対象コース		対象学年	3	開講時期	前期・後期	
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 毎週短編映像制作を実施 2. 映像を通してのアウトプッ 3. 制作プロセスの経験と発表	_				
学習目標 (到達目標)	全期授業の集大成としての映像作	作品の制作および	上映会作品のクオリ	リティアップ		
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	映像制作に必要なテープ、画コ	ンテ用紙などは配	布します。			
授業項目、内容			学習	習方法・準備学習	・備考	
1・2 制作実践 (短編	2 制作実践 I (短編)			・MA・講評		
3・4 制作実践Ⅱ(短編	制作実践Ⅱ(短編)			・MA・講評		
5⋅6 制作実践Ⅲ(短編	制作実践Ⅲ(短編)			企画・撮影・編集・MA・講評		
7⋅8 制作実践Ⅳ(短編	制作実践Ⅳ(短編)			企画・撮影・編集・MA・講評		
9 · 1 0 制作実践 (課題	制作実践Ⅰ(課題)			・MA・講評		
11.12 制作実践 (課題	<u> </u>		企画・撮影・編集	・MA・講評		
13·14 制作実践 (課題	制作実践Ⅲ(課題)			・MA・講評		
15·16 制作実践 (短編	・中編)		企画・撮影・編集・MA・講評			
17~47 制作実践 (短編	・中編)		企画・撮影・編集・MA・講評			
48 発表			講師および、外部ゲストを招いての講評会			
· 	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
評価50%、制作過程での進	捗状況20%、学習意欲30%			映像制作を体験しなか	「ら、自分自身の役割	
成績評価基準は、A(80点り D評価を不可とする。	人上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下)・	最後まで行う事。 ・完成した作品を上	-映し、内部だけでなく	〈外部評価を受ける事	
実務経験教員の経歴	D. A. 先出。	 作プロダクショ	- <i>、ー</i> フ10ケ平く	:ロ 生川 / 仁 / 一 十佳 - 4 。 フ		

対象学科 映画プロデュース科 科目名				作品制作			
担当教	員	広川 一義	実利	務授業の有無			
対象コ	ース		対象学年	4	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 毎週短編映像制作を実施 2. 映像を通してのアウトプット 3. 制作プロセスの経験と発表	、を学ぶ				
学習目 (到達		全期授業の集大成としての映像化	乍品の制作および <u>.</u>	上映会作品のクオ!	リティアップ		
	ト・教材・参	映像制作に必要なテープ、画コ	ンテ用紙などは配っ	布します。			
日数 (7コマ)		授業項目、内容		学習	プ方法・準備学習	当・備考	
1·2 制作実践 (短編)			企画・撮影・編集	・MA・講評			
3 · 4	制作実践Ⅱ(短編	j)		企画・撮影・編集	・MA・講評		
5 · 6	制作実践Ⅲ(短編			企画・撮影・編集	・MA・講評		
7 · 8	制作実践IV(短編			企画・撮影・編集・MA・講評			
9 · 1 0	制作実践I(課題			企画・撮影・編集	・MA・講評		
11 · 12	制作実践Ⅱ(課題			企画・撮影・編集	・MA・講評		
13 · 14	制作実践Ⅲ(課題			企画・撮影・編集	・MA・講評		
15 · 16	制作実践Ⅰ(短編	・中編)		企画・撮影・編集	・MA・講評		
17~47	制作実践Ⅱ(短編	・中編)		企画・撮影・編集・MA・講評			
48	発表			講師および、外部ゲストを招いての講評会			
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
		捗状況20%、学習意欲30% (上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・	最後まで行う事。		がら、自分自身の役割を	
D評価を	不可とする。						
実務経	経験教員の経歴	映像制作	ー 乍プロダクショ	ンにて10年番組	且制作に携わる		

担当教員 広川一義 実務授業の有無 ○ 対象学年 1 開高時期 前期・後期	対象学	科	映画プロデュース科	科目名	演習			
 必修・選択 必修 単位数 - 単位時間数 48時間 授業概要、目的、投業概要、目的、投業の進め方 2. 学生自身が自由な発想で減出が出来る。3. 決出したものを形にしてみる 学習目標	担当教	員	広川一義	実	ミ務授業の有無 〇			
授業 根要、目的、 授業 の進め方 1. 自ら映像を整督し、海出出来る力を身に付ける 2. 学育自身が自由な発想で満出が出来る 3. 流出したものを形にしてみる 学習目標	対象コー	ース		対象学年	1 開講時期 前期・後期			
授業・第一日	必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
(到達目標) 方・説明的な表現の排除等を実践出来る。 テキスト・教材・参 者図書・その他資料 四数 授薬項目、内容 学習方法・準備学習・備考 1 漁出法 映画・映像作品鑑賞をし、カット割り、演出法を学ぶ 2 演出法 映画・映像作品鑑賞をし、カット割り、演出法を学ぶ 3~5 企画・演出 妊娠反・企画制作 6~10 全画・演出 公画制作 11 全画・演出 公面制作 12 全画・演出 公面制作 13 演出演習 仲品決定・企画内容修正 14 演出演習 仲品決定・企画内容修正 15~20 演出演習 伊品決定・企画内容修正 14 源出演習 伊品決定・企画内容修正 16~20 無は演習 伊品決定・受画内容修正 17~22 演出演習 別作準備・予算・キャスティング・ロケハン等準備 21~22 演出演習 別作準備・予算・キャスティング・ロケハン等準備 22~24 演出演習 景形 大変・小型具打ら合わせ 23~24 湯出演習 景形 大変・小型具打ら合わせ 23~24 湯出演習 景形 大変・小型具打ら合わせ 23~24 湯出演習 景形 よび、外部ゲストを招いての講評会 48 発表 講師および、外部ゲストを招いての講評会 48 発表 講師および、外部ゲストを招いての講評会 スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% 成業評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以 ア)・D評価を不可とする。			2. 学生自身が自由な発想で演	出が出来る	† 3			
テキスト・教材・参 考図書・その他資料 回数	学習目7	標	映像演出の概念、シナリオから	テーマ・登場人物	の関係を理解し、	表現方法のアレンシ	ジ、強調・演出の付け	
著図書・その他資料 授業項目、内容 学習方法・準備学習・備考 決出法 決正・決策作品繁賞をし、カット割り、演出法を学ぶ 決正・決策作品繁賞をし、カット割り、演出法を学ぶ 注無成一企重制作 注重・演出 注重 注重 注重 注重 注重 注重 注重 注	(到達	目標)	方・説明的な表現の排除等を実	践出来る。				
回数 授業項目、内容 学習方法・準備学習・備考 別出法 映画・映像作品鑑賞をし、カット割り、演出法を学ぶ 交画・演出 映画・映像作品鑑賞をし、カット割り、演出法を学ぶ 公画・演出 公画・演出 公画・演出 公画・演出 公画・演出 公画・演出 公画・演出 公画・演出 公画・演出 公面・演出 公面・演出 公面・演出 公司・演出 公司・演出 公司・演出 公司・演出 公司・演出 公司・演出 日本 公司・事情 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布	<u>.</u>			
1 濱出法 I 映画・映像作品鑑賞をし、カット割り、濱出法を学ぶ 2 濱出法 II 映画・映像作品鑑賞をし、カット割り、濱出法を学ぶ 3~5 公画・演出 I 企画制作 11 公画・演出 II 企画制作 12 公画・演出 II 檢コンテ制作 13 演出演習 I 作品決定、企画内容修正 14 表出演習 II 特品决定、企画内容修正 15~20 深出演習 IV 美術・衣装・小道具打ち合わせ 23~24 濱出演習 IV 美術・衣装・小道具打ち合わせ 23~24 濱出演習 V 名学生が1本監督し、映像制作を行う 48 発表 講師および、外部ゲストを招いての講評会 48 発表 講師および、外部ゲストを招いての講評会 本 原修上の注意 スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に離む。自ら意見をのべ凝極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実別集工で責任を持って参加する事。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以 T)で発出ま習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実別まで責任を持って参加する事。		・その他資料	四类百日 内容		学 汉	3 大计,淮借尚3	图 . 借 🛨	
2 演出法 映画・映像作品鑑賞をし、カット割り、演出法を学ぶ 3~5 全画・演出		空山 法 1						
3~5 全面・演出 班線成一全面制作 6~10 全面・演出 全面制作 11 全面・演出 会面・演出 会面制作 11 全面・演出 会コンテ制作 12 全面・演出 会コンテ制作 13 演出演習 作品決定、企画内容修正 14 演出演習 作品決定、企画内容修正 14 演出演習 伊郎 ・ 子菓・キャスティング・ロケハン等準備 15~20 演出演習 製作準備・予算・キャスティング・ロケハン等準備 21~22 演出演習 製作準備・予算・キャスティング・ロケハン等準備 23~24 演出演習 製影スケジュールの最終決定、リハーサル 25~47 演出演習 各学生が1本監督し、映像制作を行う 議師および、外部ゲストを招いての講評会 第 発表 講師および、外部ゲストを招いての講評会								
6~10 全画・演出 ・					+		り、演出法を子ふ	
11 企画・演出						-		
12 企画・演出VI								
13 演出演習 作品決定、企画内容修正 作品決定、企画内容修正 14 演出演習 作品決定、企画内容修正 15~20 演出演習 初作準備・予算・キャスティング・ロケハン等準備 21~22 演出演習 美術・衣装・小道具打ち合わせ 撮影スケジュールの最終決定、リハーサル 25~47 演出演習 各学生が1本監督し、映像制作を行う 48 発表 講師および、外部ゲストを招いての講評会 48 発表 講師および、外部ゲストを招いての講評会 7 年間 7 年間								
14 演出演習 作品決定、企画内容修正								
15~20 演出演習III 制作準備・予算・キャスティング・ロケハン等準備 21~22 演出演習 V								
21~22 演出演習 V 美術・衣装・小道具打ち合わせ 23~24 演出演習 V 撮影スケジュールの最終決定、リハーサル 25~47 演出演習 V 各学生が1本監督し、映像制作を行う 講師および、外部ゲストを招いての講評会								
23~24 演出演習 V							口)、、、公士咄	
25~47 演出演習V 名学生が1本監督し、映像制作を行う 講師および、外部ゲストを招いての講評会 講師および、外部ゲストを招いての講評会							— サル	
発表 講師および、外部ゲストを招いての講評会					- 各学生が1本監督し、映像制作を行う			
評価方法・成績評価基準 スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以 ア)・D評価を不可とする。								
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実現まで責任を持って参加する事。								
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実現まで責任を持って参加する事。								
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実現まで責任を持って参加する事。								
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実現まで責任を持って参加する事。								
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実現まで責任を持って参加する事。								
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実現まで責任を持って参加する事。								
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実現まで責任を持って参加する事。								
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実現まで責任を持って参加する事。								
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実現まで責任を持って参加する事。								
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実現まで責任を持って参加する事。								
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実現まで責任を持って参加する事。								
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実現まで責任を持って参加する事。								
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・D評価を不可とする。 グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実現まで責任を持って参加する事。		評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意	Ę.	
下)・D評価を不可とする。 「現まで責任を持って参加する事。)・D(59占い	デアを出し実習に取	り組み、全ての実習項		
実務経験教員の経歴 映像制作プロダクションにて10年番組制作に携わる				, D(JJ灬坎	現まで責任を持って	参加する事。		
	実務経	験教員の経歴	映像制作		ョンにて10年番組	組制作に携わる		

対象学科 映画プロデュース科 科目名 演習							
担当教	員	広川一義	実	- 務授業の有無		0	
対象コー	ース		対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 自ら映像を監督し、演出出: 2. 学生自身が自由な発想で演 3. 演出したものを形にしてみる	出が出来る	- - 3			
学習目標	票	映像演出の概念、シナリオから	テーマ・登場人物	の関係を理解し、	表現方法のアレンシ	、強調・演出の付け	
(到達	目標)	方・説明的な表現の排除等を実	践出来る。				
	ト・教材・参・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布				
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	『・備考	
1	演出法丨			映画・映像作品鑑	賞をし、カット割り	り、演出法を学ぶ	
2	演出法Ⅱ			映画・映像作品鑑	賞をし、カット割	り、演出法を学ぶ	
3~5	企画・演出Ⅰ			班編成→企画制作	:		
6~10	企画・演出Ⅱ			企画制作			
11	企画・演出Ⅲ			絵コンテ制作			
12	企画・演出VI			絵コンテ制作			
13	演出演習丨			作品決定、企画内容修正			
14	14 演出演習			作品決定、企画内	容修正		
15~20	演出演習Ⅲ			制作準備・予算・	キャスティング・ロ	コケハン等準備	
21~22	演出演習IV			美術・衣装・小道	具打ち合わせ		
23~24	演出演習V			撮影スケジュール	の最終決定、リハ-	ーサル	
25~47	演出演習VI			各学生が1本監督し、映像制作を行う			
48	発表			講師および、外部ゲストを招いての講評会			
	評(西方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価		舞台制作35%、出席率30% 上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以		り組み、全ての実習項	見をのべ積極的にアイ 質目に出席し、企画の実	
宇教奴	験教員の経歴	hh <i>格</i> 生11.4	゚゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゚゚゙゙゙゙゙゚゚゚゚゚゙゙゙゙゚゚゚゚゚゙゙゙゙゙゚゚゚゚	<u> </u> ンにて10年番約	日制作に進わる		
天份的	水外貝の粧歴		トノログソンヨ	ノにてIU午台が	旦門下に抜わる		

対象学	科	映画プロデュース科	科目名	演習			
担当教	員	広川一義	実	・			
対象コー	ース		対象学年	3 開講時期 前期・後期			
必修・)	選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概! 授業の!	要、目的、 進め方	1. 自ら映像を監督し、演出出 2. 学生自身が自由な発想で演 3. 演出したものを形にしてみ	出が出来る	† 3			
学習目7	票	映像演出の概念、シナリオから	テーマ・登場人物	の関係を理解し、	表現方法のアレンシ	ジ、強調・演出の付け	
(到達	目標)	方・説明的な表現の排除等を実	践出来る。				
	ト・教材・参・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布	ī			
回数	の厄真相			学習	 『方法・準備学習	図・備 <i>老</i>	
1 演出法				ログルム キ 畑 子 E :賞をし、カット割			
	演出法 II				ニー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	企画・演出 I			班編成→企画制作		у уста с у з	
	 企画・演出Ⅱ			企画制作			
	企画・演出Ⅲ			絵コンテ制作			
12	企画・演出VI			絵コンテ制作			
13	演出演習			作品決定、企画内	 容修正		
14	演出演習Ⅱ			作品決定、企画内			
15~20	演出演習Ⅲ			制作準備・予算・	キャスティング・	ー ロケハン等準備	
21~22	演出演習IV			美術・衣装・小道	[具打ち合わせ		
23~24	演出演習V			撮影スケジュール	・の最終決定、リハ・	ーサル	
25~47	演出演習VI			各学生が1本監督し、映像制作を行う			
48	発表			講師および、外部ゲストを招いての講評会			
評価方法・成績評価基準 履修上の注意							
成績評価	スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的に元 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以 現まで責任を持って参加する事。						
	価を不可とする。						
実務経	験教員の経歴	映像制作	作プロダクショ	ョンにて10年番組	組制作に携わる		

対象学科	映画プロデュース科	科目名	演習				
担当教員	広川一義	実	ミ務授業の有無 〇				
対象コース		対象学年	学年 4 開講時期 前期・後期				
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間		
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 自ら映像を監督し、演出出 2. 学生自身が自由な発想で演 3. 演出したものを形にしてみ	買出が出来る	t a				
学習目標	映像演出の概念、シナリオから	テーマ・登場人物	の関係を理解し、:	表現方法のアレンシ	ジ、強調・演出の付け		
(到達目標)	方・説明的な表現の排除等を実	践出来る。					
テキスト・教材 考図書・その他	教科書は使用しない、必要な資	骨料はその都度配布	ī				
回数			学習	 『方法・準備学習	習・備考		
1 演出法				賞をし、カット割			
2 演出法				賞をし、カット割			
3~5 企画・演出	1		班編成→企画制作				
6~10 企画・演出	II		企画制作				
11 企画・演出	III		絵コンテ制作				
12 企画・演出	企画・演出VI			絵コンテ制作			
13 演出演習							
14 演出演習	演出演習Ⅱ]容修正			
15~20 演出演習Ⅲ			制作準備・予算・	キャスティング・	ロケハン等準備		
21~22 演出演習Ⅳ			美術・衣装・小道	具打ち合わせ			
23~24 演出演習 V			撮影スケジュール	√の最終決定、リハ・	ーサル		
25~47 演出演習VI			各学生が1本監督し、映像制作を行う				
48 発表			講師および、外部ゲストを招いての講評会				
	評価方法・成績評価基準 履修上の注意						
成績評価基準は、A(映像・舞台制作35%、出席率30% 80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上	<u>-</u>)・D(59点以		り組み、全ての実習項	見をのべ積極的にアイ 関目に出席し、企画の実		
下)・D評価を不可と	する。 						
実務経験教員の	経歴 映像制	作プロダクショ	ョンにて10年番網	組制作に携わる			

<u> </u>			三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	人家アナイナ寺	1 子仪 フラハス
対象学科	科 映画プロデュース科 科目名		i-MEDIAゼミ		
担当教員	神田 幸司	実利	努授業の有無		
対象コース		対象学年	1 · 2 · 3 · 4	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 毎回、特別講師をお招きし 2. 講演会のみに留まらず、実 3. 全ての在校生および教職員	習・演習形式もあ	りえる。		
学習目標	著名なゲスト先生によりスペシ	ャルなトークにな	ります。貴重な経駁	食が出来、人生にお	いて大切なことが学
(到達目標)	べます。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	講師の事前資料あり				
回数	授業項目、内容		学習	方法・準備学習	習・備考
1・2 スペシャルゲスト講師①			予定講師		
3・4 スペシャルゲスト講師②			声優・アーティスト・映画監督・プロデューサー・お笑い		
5・6 スペシャルゲスト講師③			芸人・イベントプロデューサー・歌手・教育関係者・ユー チューバーなど		
7・8 スペシャルゲスト講師④					
9・10 スペシャルゲスト講師⑤]		
11・12 スペシャルゲスト講師⑥]		
13・14 スペシャルゲスト講師⑦			1		
15・16 スペシャルゲスト講師⑧			1		
17・18 スペシャルゲスト講師⑨					
19・20 スペシャルゲスト講師⑩					
21・22 スペシャルゲスト講師⑪					
23・24 スペシャルゲスト講師⑫]		
25・26 スペシャルゲスト講師⑬			1		
27・28 スペシャルゲスト講師⑭					
29・30 スペシャルゲスト講師⑮					
31・32 スペシャルゲスト	講師値				
評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意	5
授業態度と出席璃で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ D評価を不可とする。			事前に講師のプロフィールや資料を配布します。必ず事前に勉強して受講下さい。		
実務経験教員の経歴			l		

対象学科	映画プロデュース科	科目名	社会人常識マナー検定			
担当教員	鈴木 則子			. 4 / NH III / N	X	
対象コース	トレン 人 ハイホ	対象学年	が 1	開講時期	<u>^</u> 前期・後期	
必修・選択	必修		_	16時間		
授業概要、目的、授業の進め方	1. 社会人、組織の一員として 2. 人として必要な知識やビジ	て必要不可欠な社会常識を理解する。 ジネスマナーを修得する。 めのコミュニケーション能力を修得する。				
学習目標 (到達目標)	1.社会常識を理解する。2.ビジビジネスマナーの基礎を理解す				どを身につける。4.	
テキスト・教材・参	公益社団法人 全国経理教育協会公益社団法人 全国経理教育協会				;級	
回数			学習	方法・準備学習	習・備考	
1 社会人常識マナー検定試験 社会と組織1	食について		社会人としての自覚やキャ	リア、会社組織について。	テキストP1~20	
2 社会と組織2			組織と役割、社会	念変化とその対応。	テキストP22~32	
3 仕事と組織			目標の重要性、主	生体性と組織運営。	テキストP34~54	
4 一般常識1			社会常識の基礎用語。漢字など。テキストP56~70			
5 一般常識 2			社会常識の基礎用語。用語など。テキストP70~86			
6 ビジネスコミュニ	ニケーション 言葉遣い		人間関係とコミュニケーション。敬語と話し方。テキストP102~144			
7 ビジネス文書			ビジネス文書の特徴。社内文書。テキストP146~156			
8 ビジネスマナー			組織の一員としてのマナー。来客応対。テキストP176~196			
9 定期試験			テストと解説。			
10 電話対応			電話対応の重要性。電話の)受け方、掛け方の心得。テ	-キストP202~214	
211 交際業務			慶事・弔辞のマナ	-ー。テキストP12	8~238	
12 文書類の受け取り	りと発送		受発信文書の取り扱い。オ	「フィス環境。テキストP24	2~249	
13 計算			ビジネスにおける計算。数式。テキストP90~99			
14 日本			都道県名・県庁所	f在地・各県の特色	はなど。	
15 検定対策①			過去問題の解説、	確認。		
16 検定対策②			過去問題の解説、	確認。		
評1	西方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験40%、レポート2 成績評価基準は、A(80点り下)・D評価を不可とする。	5%、実技試験25%、学習意欲1 以上)・B(70点以上)・C(60点以		社会人として必要なと、社会への意識を	マナーや知識を修得	。検定合格は勿論のこ	
実務経験教員の経歴						

+14-24-47		ゆエラー ニャ	イリ ロ ム	1	n4 == 10m = 4			
対象学科		映画プロデュース科	科目名 ————————————————————————————————————	映画概論				
担当教員		広川 一義	ļ	務授業の有無 -		0		
対象コース			対象学年	3	開講時期	前期・後期		
必修・選択	1	必修	単位数	_	単位時間数	16時間		
授業概要、 授業の進 <i>め</i>		1. 幅広い映画・映像作品に触れ 2. 映画・映像に対する自分なり 3. 映像制作における共通言語	りの考えを持つ	3				
学習目標 (到達目標	<u>.</u>	それぞれの時代の映画監督が、 分の作品制作に活かせるように7		を発揮して新しい剨	長現方法を発見して	いったのかを知り、自		
	・教材・参	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布					
回数				学習		『・備考		
1 映画	・映像批評(前期) I		映画・テレビドラマ・実験	映像を観てレポートを提出す	る。(サイレント)		
2 映画	・映像批評(前期)II		映画・テレビドラマ・実験	映像を観てレポートを提出す	る。 (ドキュメンタリー)		
3 映画	・映像批評(前期)Ⅲ		映画・テレビドラマ・実験	映画・テレビドラマ・実験映像を観てレポートを提出する。(時代劇)			
4 映画	・映像批評(前期)IV		映画・テレビドラマ・実験映像を観てレポートを提出する。(邦画作品)				
5 映画	・映像批評(前期) V		映画・テレビドラマ・実験映像を観てレポートを提出する。(洋画作品)				
6 映画	・映像批評(前期)VI		映画・テレビドラマ・実験映像を観てレポートを提出する。(ジャパニーズ・ホラー)				
7 映画	・映像批評(前期)VII		映画・テレビドラマ・実験映像を観てレポートを提出する。(B級ホラー)				
8 映画	・映像批評(前期)VIII		映画・テレビドラマ・実験映像を観てレポートを提出する。(アクション)				
9 映画	・映像批評(前期)IX		映画・テレビドラマ・実験	映像を観てレポートを提出す	る。(恋愛映画)		
10 映画	・映像批評(後期)I		映画・テレビドラマ・実験	映像を観てレポートを提出す	る。(特撮映画)		
11 映画	・映像批評(後期)		映画・テレビドラマ・実験映像を観てレポートを提出する。(コメディー映画)				
12 映画	・映像批評(後期)Ⅲ		映画・テレビドラマ・実験映像を観てレポートを提出する。(プロモーション映像)				
13 映画	・映像批評(後期)IV		映画・テレビドラマ・実験	映像を観てレポートを提出す	る。(コマーシャル研究)		
14 映画	・映像批評(後期)V		映画・テレビドラマ・実験	映像を観てレポートを提出す	る。(特撮映画)		
15 映画	・映像批評(後期)VI		映画・テレビドラマ・実験映像を観てレポートを提出する。 (戦争映画)				
16 映画	・映像批評(後期)Ⅶ ————————————————————————————————————		映画・テレビドラマ・実験	映像を観てレポートを提出す	る。(邦画作品)		
	<u>計</u>	西方法・成績評価基準			履修上の注意	Ī.		
		上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・	事。	出席し、尚且かならる			
	 数員の経歴	11.45.41.4	゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゠゚゚ヿゟ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙ヿゟ゙゙゙゙゙゙゙゙゙	<u> </u> ンにて10年番絲	日制作に進わる			
天伤在駅往	3.貝の在歴	吹 塚利1	トノロメソンヨ	ノに(IU午留前	山門下に抜わる			

対象学科	映画プロデュース科	科目名	映画概論				
担当教員	広川 一義	実	<u></u> 務授業の有無		0		
対象コース		対象学年	4	開講時期	前期・後期		
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間		
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 幅広い映画・映像作品に触 2. 映画・映像に対する自分な 3. 映像制作における共通言語	りの考えを持つ	ేవ				
学習目標 (到達目標)	それぞれの時代の映画監督が、 分の作品制作に活かせるように		を発揮して新しいま	長現方法を発見して	いったのかを知り、自		
,,	7) OF FEITHING FOR A VICE	<u> </u>					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布					
回数			学習	 『方法・準備学習	 習・備考		
1 映画・映像批評	 (前期) I		映画・テレビドラマ・実験	は映像を観てレポートを提出す	ける。 (サイレント)		
2 映画・映像批評	(前期) II		映画・テレビドラマ・実験	映像を観てレポートを提出す	する。(ドキュメンタリー)		
3 映画・映像批評	(前期)Ⅲ		映画・テレビドラマ・実験	は映像を観てレポートを提出す	する。(時代劇)		
4 映画・映像批評	(前期)IV		映画・テレビドラマ・実験	は映像を観てレポートを提出す	ける。(邦画作品)		
5 映画・映像批評	(前期) V		映画・テレビドラマ・実験	は映像を観てレポートを提出す	する。(洋画作品)		
6 映画・映像批評	(前期)VI		映画・テレビドラマ・実験	は映像を観てレポートを提出す	ける。(ジャパニーズ・ホラー)		
7 映画・映像批評	(前期)VII		映画・テレビドラマ・実験	映像を観てレポートを提出す	ける。 (B級ホラー)		
8 映画・映像批評	(前期)Ⅷ		映画・テレビドラマ・実験	映像を観てレポートを提出す	する。 (アクション)		
9 映画・映像批評	(前期)IX		映画・テレビドラマ・実験	映像を観てレポートを提出す	する。(恋愛映画)		
10 映画・映像批評	(後期) I		映画・テレビドラマ・実験	は映像を観てレポートを提出す	する。 (特撮映画)		
11 映画・映像批評	(後期) II		映画・テレビドラマ・実験	は映像を観てレポートを提出す	する。(コメディー映画)		
12 映画・映像批評	(後期) Ⅲ		映画・テレビドラマ・実験	(映像を観てレポートを提出す	ける。(プロモーション映像)		
13 映画・映像批評	(後期)IV		映画・テレビドラマ・実験	(映像を観てレポートを提出す	ける。(コマーシャル研究)		
14 映画・映像批評	(後期) V		映画・テレビドラマ・実験	映像を観てレポートを提出す	ける。(特撮映画)		
15 映画・映像批評	(後期)VI		映画・テレビドラマ・実験	(映像を観てレポートを提出す	ける。(戦争映画)		
16 映画・映像批評	(後期)Ⅶ ————————————————————————————————————		映画・テレビドラマ・実験	は映像を観てレポートを提出す	する。(邦画作品)		
 評平	 価方法・成績評価基準			 履修上の注意	五 司		
レポート70%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以 D評価を不可とする。	6 以上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下)・	事。	こ出席し、尚且かなら [、] 見聴映画が異なります。	ずレポートを提出する。		
実務経験教員の経歴	映像制	作プロダクショ	<u>.</u> ロンにて10年番約	組制作に携わる			

対象学科							
刈家子件 ————————————————————————————————————	映画プロデュース科	科目名	実践行動学				
担当教員	若狭利之	, 	務授業の有無	,	0		
対象コース		対象学年	1	開講時期	前期・後期		
必修・選択	必修	単位数	単位時間数 15時				
授業概要、目的、 授業の進め方	 前期1回、後期2回実施 人間力(自主性・プラス思 Part 1 ~ Part 3 を毎回グルー 	・プラス思考・実行力など)の育成					
学習目標 (到達目標)	将来に対する目標設定・プラス	5目標設定・プラス思考・働くことへのモチベーション向上					
テキスト・教材・ 考図書・その他資	実践行動学テキスト配布 実践	行動学研究所					
回数	授業項目、内容		学習	プ方法・準備学習	習・備考		
1 Part1 マジ	ックドア1		夢と目標 P1~	27			
2 Part 1 マジ	ックドア 2		誤った思い込みと	言い訳 P8~P1	3		
3 Part1 マジ	ックドア3		行動のよりどころ	と心構え P14~	-P22		
4 Part1 マジ	ックドア4		まず第1歩を P	23~P32			
5 Part 1 マジ	ックドア 5		目標設定しよう P33~P38				
6 Step Up Shee	et			目標設定達成の振り返り P39~P42 プラス思考が自分の能力・可能性を大きく広げる			
7 Part 2 マジ	ックドア1		プラス思考が自分 P1~P4	の能力・可能性を	大きく広げる		
8 Part 2 マジ	ックドア 2		考え方を変えれば	行動が変わる P5	5∼P11		
9 Part 2 マジ	ックドア3			あなたが解決でき			
10 Part 2 マジ	ックドア4		あなたのコミュニ P20~P27	ケーションスタイル	レを見但をつ		
11 Part 2 マジ	ックドア 5		目標が才能・可能	性を開花させる	P 2 8~P 3 2		
12 Step Up Shee	et		目標設定達成の振	り返り P34~P	3 6		
13 Part 3 マジ	ックドア1 		入学から今日まで	の成長を実感しよ	o P1∼P4		
14 Part 3 マジ	ックドア2		働く自分をイメー	ジしてみよう P5	~P10		
15 Part 3 マジ	ックドア3		自分が最大限に活	きる働き方とは	P11~P15		
16 Part 3 マジ	ックドア4		将来を描いてみよ	う P16~P20			
17 Part 3 マジ	ックドア 5		夢実現への第一歩	を踏み出そう P2	2 1∼P24		
18 Step Up Shee	et		夢実現整理・行動	計画の振り返り	P25∼P28		
	評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
積極的取り組み40%、発表内容30%、リーダーシップ30%、 講師はあくまでも授業の進行役(ファシリテーター) ません。ファシリテーターの指示に従い、グループで で下さい。 上)・D評価を不可とする。 ません。ファシリテーターの指示に従い、グループで で下さい。 Step Up Sheetは時間に含まない(あくまでも補講)				グループで授業を進め			
実務経験教員の経	歴	実践行動学フ		資格者 			

(2)		_		:吹诼メナイグ 専	門字校 ンフバス		
対象学科	映画プロデュース科	科目名	車 攻実習				
担当教員	広川一義	実	務授業の有無		0		
対象コース		対象学年	1	開講時期	前期		
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	182時間		
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 柔軟な発想力を鍛える 2. 学生自身が自由な発想で演 3. 演出したものを形にしてみる						
学習目標	映像演出の概念、シナリオから	テーマ・登場人物の	の関係を理解し、表	現方法のアレンジ、	強調・演出の付け		
(到達目標)	方・説明的な表現の排除等を実	践出来る。					
テキスト・教材・教 考図書・その他資料		料はその都度配布					
回数	授業項目、内容		学習		・備考		
1~6 企画・演出			班編成→企画提出	→プレゼンテーショ	ン後、一次選考		
6~15 企画・演出			撮影(スチール)	作品決定、企画内容	修正		
16~25 企画・演出Ⅲ			撮影スケジュール	案を提出			
26~35 企画・演出Ⅳ			予算、ロケ地、キ	ャスト、スケジュー	-ル等の最終決定		
36~45 企画・演出 V			撮影準備開始				
46~55 企画・演出VI			撮影完了				
56~65 映像演出(基礎	赴)演習Ⅰ		企画内容選定 (舞台制作)				
66~75 映像演出(基礎	赴)演習Ⅱ		企画内容修正・制作準備・予算・キャスティング・ロケハン等準備				
76~85 映像演出(基礎	Ě) 演習Ⅲ		制作準備・予算・キャスティング・ロケハン等準備				
86~95 映像演出(基礎	ž)演習Ⅳ		美術・衣装・小道具打ち合わせ				
96~105 映像演出(基礎	Ě)演習∨		撮影スケジュール	の最終決定、リハー	-サル		
106~115 映像演出(基礎	e 使)演習VI		企画を元にした映	像制作もしくは舞台	制作準備		
116~125							
126~135							
136~145							
146~152 前期集大成の時	1 兔作品制作		完成したものは随	時上映会を宝蜘			
153~159	\®\		プレルタントでひりは随	M工収五で大肥			
160~166							
167~174							
175~182							
	評価方法・成績評価基準			履修上の注意	ţ		
	・舞台制作35%、出席率30%				見をのべ積極的にアイデ に出席し、企画の実現		
成績評価基準は、A(80点 D評価を不可とする。	京以上)・B(70点以上)・C(60点以上) 	・D(59点以下)・	まで責任を持って参	加する事。			
実務経験教員の経歴	歴 映像制	作プロダクショ	ンにて10年番組	<u> </u> 且制作に携わる			

(2)					門学校 シラバス			
対象学科	映画プロデュース科	科目名						
担当教員	広川一義	5	実務授業の有無					
対象コース		対象学年	2	開講時期	前期			
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	182時間			
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 柔軟な発想力を鍛える 2. 学生自身が自由な発想で演 3. 演出したものを形にしてみる							
学習目標	映像演出の概念、シナリオから	テーマ・登場人物	ーーー 勿の関係を理解し、表	 現方法のアレンジ、	強調・演出の付け			
(到達目標)	方・説明的な表現の排除等を実践	践出来る。						
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配る	布					
回数			学習		・備考			
1~6 企画・演出			班編成→企画提出	l→プレゼンテーショ	ン後、一次選考			
6~15 企画・演出			撮影(スチール)	作品決定、企画内容				
16~25 企画・演出Ⅲ			撮影スケジュール	 ·案を提出				
26~35 企画・演出Ⅳ			予算、ロケ地、キ	ヤスト、スケジュー	ル等の最終決定			
36~45 企画・演出 V			撮影準備開始					
46~55 企画・演出VI			撮影完了					
56~65 映像演出(基礎	(i) 演習		企画内容選定(舞	台制作)				
66~75 映像演出(基礎	(基礎) 演習 企画内容修正·制作準備·予算·				予算・キャスティング・ロケハン等準備			
76~85 映像演出(基礎	(注) 演習Ⅲ		制作準備・予算・	キャスティング・ロ	ケハン等準備			
86~95 映像演出(基礎	演習Ⅳ		美術・衣装・小道	[具打ち合わせ				
96~105 映像演出(基礎	演習 V		撮影スケジュール	の最終決定、リハー	サル			
106~115 映像演出(基礎)演習VI		企画を元にした映	像制作もしくは舞台	制作準備			
116~125								
126~135								
136~145								
146~152 前期集大成の映	像作品制作		完成したものは随	i時上映会を実施				
153~159	1 L Fdt II. HH . I 1 L Cdt I HH . I 1 L Cd I		フロルベレイC O V V V K PLE	ヹヮヮヹゕハムで大胆				
160~166								
167~174								
175~182								
	評価方法・成績評価基準			履修上の注意				
スチール提出35%、映像	・舞台制作35%、出席率30%				見をのべ積極的にアイテ			
成績評価基準は、A(80点 D評価を不可とする。	以上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・	アを出し実習に取りまで責任を持って参	組み、全ての実習項目 加する事。	に出席し、企画の実現			
 実務経験教員の経歴	歴 映像制	 作プロダクシ	_ ′ョンにて10年番約	 狙制作に携わる				
= -= -= -	2 (200 (410							

(2)				:吹诼メナイグ 専	門字校 ンフバス		
対象学科	映画プロデュース科	科目名	車攻実習				
担当教員	広川一義	実	務授業の有無		0		
対象コース		対象学年	3	開講時期	前期		
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	182時間		
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 柔軟な発想力を鍛える 2. 学生自身が自由な発想で演 3. 演出したものを形にしてみる						
学習目標	映像演出の概念、シナリオから	テーマ・登場人物の	の関係を理解し、表	現方法のアレンジ、	強調・演出の付け		
(到達目標)	方・説明的な表現の排除等を実践	践出来る。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	■ 教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布					
回数	授業項目、内容		学習	冒方法・準備学習	・備考		
1~6 企画・演出			班編成→企画提出	→プレゼンテーショ	ン後、一次選考		
6~15 企画・演出			撮影(スチール)	作品決定、企画内容	修正		
16~25 企画・演出Ⅲ			撮影スケジュール	案を提出			
26~35 企画・演出Ⅳ			予算、ロケ地、キ	ャスト、スケジュー	-ル等の最終決定		
36~45 企画・演出 V			撮影準備開始				
46~55 企画・演出VI			撮影完了				
56~65 映像演出(基礎) 演習		企画内容選定(舞台制作)				
66~75 映像演出(基礎) 演習		企画内容修正・制作準備・予算・キャスティング・ロケハン等準備				
76~85 映像演出(基礎) 演習Ⅲ		制作準備・予算・キャスティング・ロケハン等準備				
86~95 映像演出(基礎)演習IV		美術・衣装・小道具打ち合わせ				
96~105 映像演出(基礎)演習 V		撮影スケジュール	の最終決定、リハー	-サル		
106~115 映像演出(基礎)演習VI		企画を元にした映	像制作もしくは舞台	ì制作準備		
116~125							
126~135							
136~145							
146~152 前期集大成の映	<i>烙北</i> 口虬 <i>北</i>		完成したものは随	時上肺 <i>へも</i> 中地			
153~159	וניית בה או האור האור האור האור האור האור האור		元以したものは随	吋工吠云で夫 肔			
160~166							
167~174							
175~182							
	評価方法・成績評価基準			履修上の注意	ţ		
スチール提出35%、映像	·舞台制作35%、出席率30%				見をのべ積極的にアイデ に出席し、企画の実現		
成績評価基準は、A(80点 D評価を不可とする。	以上)·B(70点以上)·C(60点以上)	·D(59点以下)·	まで責任を持って参		に山舟 し、止回の夫巩		
実務経験教員の経歴	映像制	作プロダクショ	ンにて10年番組	且制作に携わる			
	-						

(2)					門学校 シラバス			
対象学科	映画プロデュース科	科目名						
担当教員	広川一義		実務授業の有無		0			
対象コース		対象学年	4	開講時期	前期			
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	182時間			
授業概要、目的 授業の進め方	1. 柔軟な発想力を鍛える 2. 学生自身が自由な発想で演 3. 演出したものを形にしてみ							
		テーマ・登場人	 物の関係を理解し、表	 長現方法のアレンジ、	強調・演出の付け			
(到達目標)	方・説明的な表現の排除等を実							
テキスト・教材 考図書・その他	教科書は使用しない、必要な資		布					
回数	『夏神 授業項目、内容		学习					
1~6 企画・演出				ョフル 午畑ナ日 !→プレゼンテーショ				
6~15 企画・演出								
16~25 企画・演出			撮影スケジュール		· ·			
26~35 企画・演出				・ ・ ・ャスト、スケジュー	 -ル等の最終決定			
36~45 企画・演出			撮影準備開始	, , , -				
46~55 企画・演出			撮影完了					
	-65 映像演出(基礎)演習 I			企画内容選定(舞台制作)				
66~75 映像演出			企画内容修正・制作準備・予算・キャスティング・ロケハン等準備					
76~85 映像演出			制作準備・予算・	キャスティング・ロ	 ケハン等準備			
86~95 映像演出	(基礎) 演習Ⅳ		美術・衣装・小道	美術・衣装・小道具打ち合わせ				
96~105 映像演出	(基礎) 演習 V		撮影スケジュール	撮影スケジュールの最終決定、リハーサル				
106~115 映像演出	(基礎) 演習VI		企画を元にした映	企画を元にした映像制作もしくは舞台制作準備				
116~125								
126~135								
136~145								
146~152 前期集大局	以の映像作品制作		完成したものは随	話上映会を宝梅				
153~159	~~~☆◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇		ルルシングの	プトリエ・K 女 で 天心				
160~166								
167~174								
175~182								
	評価方法・成績評価基準			履修上の注意	-			
	映像・舞台制作35%、出席率30% (80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上 。)・D(59点以下)	アを出し実習に取り	組み、全ての実習項目	見をのべ積極的にアイテ に出席し、企画の実現			
		 作プロダクシ	<u> </u>	 組制作に携わる				
	<u>_</u>	-11 - 11 / / /	· ·- · · · · · · · · · · · · · · · · ·					

2			日际	以家 アナイナ 寺口	111/2		
対象学科	映画プロデュース科	科目名	卒業進級制作				
担当教員	広川 一義	実	■ 務授業の有無 O				
対象コース		対象学年	1	開講時期	後期		
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	260時間		
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 各学年集大成の学習発表の 2. 制作プロセスの経験と発表 3. 各自、これまで学んだこと		ら本番までを実施				
学習目標 (到達目標)	全期授業の集大成としての映像	作品の制作およう	び上映会				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	映像制作に必要なテープ、画コ	ンテ用紙などは	配布します。				
日数 (7コマ)	授業項目、内容		学習	冒方法・準備学習	・備考		
1・2 企画書立案・協	議		学生事の作品企画	回(テーマ・ジャンル	レ・内容など)		
3・4 企画書立案・協			学生事の作品企画	回(テーマ・ジャンル	レ・内容など)		
5・6 企画書立案・協	議		学生事の作品企画	回(テーマ・ジャンル	レ・内容など)		
7・8 企画書立案・協	議Ⅳ		学生事の作品企画(テーマ・ジャンル・内容など)				
9・10 シナリオ制作・	シナリオ制作・修正Ⅰ			シナリオ制作・チェック・修正			
11・12 シナリオ制作・	修正Ⅱ		シナリオ制作・チ	エック・修正			
13・14 シナリオ制作・	修正		シナリオ制作・チ	ニェック・修正			
15・16 シナリオ制作・	修正IV		シナリオ制作・チェック・修正				
17・18 シナリオ制作・	修正V		シナリオ制作・チ	ニェック・修正			
19・20 学内プレゼン・	班編成		シナリオ・企画書	書を基にしたプレゼン	/および班分け		
21・22 制作準備			撮影・スケジュー	-ル・許可取り			
23・24 制作準備Ⅱ			撮影・スケジュー	-ル・許可取り			
25・26 制作準備川			撮影・スケジュー	-ル・許可取り			
27·28 制作実践			撮影・編集・MA				
29・30 制作実践			撮影・編集・MA				
31⋅32 制作実践Ⅲ			撮影・編集・MA				
33⋅34 制作実践Ⅳ			撮影・編集・MA				
35・36 編集チェック・	修正		撮影・編集・MA	のチェックおよび、	修正		
37・38 最終仕上げ			撮影・編集・MA	最終的な仕上げ			
39·40 作品上映会			講師および、外部	『ゲストを招いての詞			
-	平価方法・成績評価基準			履修上の注意	·		
	進捗状況20%、学習意欲30% (以上)・B(70点以上)・C(60点以上	-)・D(59占以	最後まで行う事。)映像制作を体験しなか			
下)・D評価を不可とする	•			上映し、内部だけでなく	(外部評価を受ける事。		
実務経験教員の経歴	麼┃ 映像制作	作プロダクシ	ョンにて10年番	組制作に携わる			

対象学科	映画プロデュース科	科目名	—————————————————————————————————————				
	広川 一義	実	実務授業の有無 〇				
 対象コース		対象学年	2	 後期			
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	260時間		
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 各学年集大成の学習発表の 2. 制作プロセスの経験と発表 3. 各自、これまで学んだこと		う本番までを実施				
学習目標 (到達目標)	全期授業の集大成としての映像作品の制作および上映会						
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	映像制作に必要なテープ、画コ	ンテ用紙などは酢	己布します。				
日数 (7コマ)	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考		
1・2 企画書立案・協議	意		学生事の作品企画	回(テーマ・ジャン川	レ・内容など)		
3・4 企画書立案・協議	· []		学生事の作品企画	回(テーマ・ジャン川	レ・内容など)		
5・6 企画書立案・協議	ੈ [[]		学生事の作品企画	回(テーマ・ジャン川	レ・内容など)		
7・8 企画書立案・協議	ŧV		学生事の作品企画(テーマ・ジャンル・内容など)				
9・10 シナリオ制作・修	§正 I		シナリオ制作・チェック・修正				
11・12 シナリオ制作・修	≶正Ⅱ		シナリオ制作・チ	ニェック・修正			
13・14 シナリオ制作・修	≶正Ⅲ		シナリオ制作・チ	ニェック・修正			
15・16 シナリオ制作・修	逐正IV		シナリオ制作・チェック・修正				
17・18 シナリオ制作・修	逐正 V		シナリオ制作・チ	ニェック・修正			
19・20 学内プレゼン・班	E編成		シナリオ・企画書	書を基にしたプレゼン	/および班分け		
21.22 制作準備			撮影・スケジュー	-ル・許可取り			
23・24 制作準備			撮影・スケジュー	-ル・許可取り			
25⋅26 制作準備Ⅲ			撮影・スケジュー	-ル・許可取り			
27·28 制作実践			撮影・編集・MA				
29·30 制作実践			撮影・編集・MA				
31⋅32 制作実践Ⅲ			撮影・編集・MA				
33⋅34 制作実践Ⅳ			撮影・編集・MA				
35・36 編集チェック・修	逐正		撮影・編集・MAのチェックおよび、修正				
37・38 最終仕上げ			撮影・編集・MA 最終的な仕上げ				
39·40 作品上映会			講師および、外部	『ゲストを招いての詞	講評会		
評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意			
成績評価基準は、A(80点り	- 捗状況20%、学習意欲30% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上	<u>-</u>)・D(59点以	最後まで行う事。)映像制作を体験しなか 上映し、内部だけでなく	ぶら、自分自身の役割を (外部評価を受ける事。		
下)・D評価を不可とする。	T						
実務経験教員の経歴	映像制作	作プロダクショ 	ョンにて10年番	組制作に携わる			

					国际	吸属アノイノモ	111/2		
対象学科	映画	プロデュース科	科目名		卒業進級制作				
担当教員		広川 一義		実務授業	■ 務授業の有無 O				
対象コース			対象学年	<u> </u>	3	開講時期	後期		
必修・選択		必修	単位数		_	単位時間数	260時間		
授業概要、目的 授業の進め方	2. 制作	単年集大成の学習発表の ■プロセスの経験と発表 ■、これまで学んだこと		から本番ま	でを実施				
学習目標 (到達目標)		美の集大成としての映像	作品の制作お。	よび上映会					
テキスト・教材 考図書・その他	映像制作	≡に必要なテープ、画コ	ンテ用紙など	は配布しま	す。				
日数 (7コマ)	授	業項目、内容			学習	習方法・準備学習	・備考		
1・2 企画書立	案・協議Ⅰ			学生事	の作品企画	画(テーマ・ジャン)	レ・内容など)		
3 · 4 企画書立	案・協議Ⅱ			学生事	の作品企画	画(テーマ・ジャン)	レ・内容など)		
5・6 企画書立	案・協議Ⅲ			学生事	の作品企画	画(テーマ・ジャン)	レ・内容など)		
7・8 企画書立	案・協議Ⅳ			学生事	学生事の作品企画(テーマ・ジャンル・内容など)				
9・10 シナリオ	シナリオ制作・修正Ⅰ			シナリ	シナリオ制作・チェック・修正				
11・12 シナリオ	制作・修正Ⅱ			シナリ	オ制作・	チェック・修正			
13・14 シナリオギ	制作・修正Ⅲ			シナリ	オ制作・	チェック・修正			
15・16 シナリオ	制作・修正IV			シナリ	シナリオ制作・チェック・修正				
17・18 シナリオギ	制作・修正V			シナリ	オ制作・	チェック・修正			
19・20 学内プレー	ゼン・班編成			シナリ	オ・企画記	書を基にしたプレゼン	/および班分け		
21.22 制作準備	I			撮影・	スケジュ-	ール・許可取り			
23・24 制作準備	II			撮影・	スケジュ-	ール・許可取り			
25・26 制作準備	II			撮影・	スケジュ-	ール・許可取り			
27·28 制作実践	I			撮影・	編集・MA				
29·30 制作実践	II			撮影・	編集・MA	\ \			
31.32 制作実践	II			撮影・	編集・MA				
33.34 制作実践	V			撮影・	編集・MA	1			
35・36 編集チェ	ック・修正			撮影・	編集・MA	のチェックおよび、	修正		
37・38 最終仕上	 ず			撮影・	編集・MA	最終的な仕上げ			
39·40 作品上映	<u></u>			講師お	3よび、外部	部ゲストを招いての詞	 講評会		
<u> </u>	評価方法	・成績評価基準					<u>-</u>		
評価50%、制作過程		0%、学習意欲30% 70点以上)・C(60点以上	-) • D(50占い	最後ま	で行う事。		^が ら、自分自身の役割を		
下)・D評価を不可	とする。					上映し、内部だけでな。	〈外部評価を受ける事。		
実務経験教員の	D経歴	映像制作	乍プロダクシ	ンョンにつ	て10年番	組制作に携わる			

担当教員 対象コース	広川 一義	I_L					
対象コース		実	長務授業の有無 ○				
		対象学年	4	後期			
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	260時間		
授耒㈱安、日的、	 各学年集大成の学習発表の 制作プロセスの経験と発表 各自、これまで学んだこと 		ら本番までを実施				
(到達目標)	全期授業の集大成としての映像作品の制作および上映会						
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	映像制作に必要なテープ、画コ	ンテ用紙などは	配布します。				
日数 (7コマ)	授業項目、内容		学習	冒方法・準備学習	・備考		
1・2 企画書立案・協議	I		学生事の作品企画	回 (テーマ・ジャンル	ン・内容など)		
3・4 企画書立案・協議	II		学生事の作品企画	回(テーマ・ジャンル	レ・内容など)		
5・6 企画書立案・協議	III		学生事の作品企画	回 (テーマ・ジャンル	レ・内容など)		
7・8 企画書立案・協議	IV		学生事の作品企画(テーマ・ジャンル・内容など)				
9・10 シナリオ制作・修	o シナリオ制作・修正 I			シナリオ制作・チェック・修正			
11・12 シナリオ制作・修	ŒΠ		シナリオ制作・チ	ニェック・修正			
13・14 シナリオ制作・修	ŒΙΙΙ		シナリオ制作・チ	ニェック・修正			
15・16 シナリオ制作・修	ŒΙV		シナリオ制作・チェック・修正				
17・18 シナリオ制作・修	正V		シナリオ制作・チ	ニェック・修正			
19・20 学内プレゼン・班紙	編成		シナリオ・企画書	書を基にしたプレゼン	/および班分け		
21・22 制作準備			撮影・スケジュー	-ル・許可取り			
23・24 制作準備			撮影・スケジュー	-ル・許可取り			
25・26 制作準備Ⅲ			撮影・スケジュー	-ル・許可取り			
27・28 制作実践			撮影・編集・MA				
29·30 制作実践			撮影・編集・MA				
31⋅32 制作実践Ⅲ			撮影・編集・MA				
33·34 制作実践IV			撮影・編集・MA				
35・36 編集チェック・修	Œ		撮影・編集・MAのチェックおよび、修正				
37・38 最終仕上げ			撮影・編集・MA 最終的な仕上げ				
39·40 作品上映会	40 作品上映会 講師および、外部ゲストを招いての講評会				講評会		
評估	西方法・成績評価基準			履修上の注意			
評価50%、制作過程での進 成績評価基準は、A(80点以 下)・D評価を不可とする。	步状況20%、学習意欲30% 上)・B(70点以上)・C(60点以上	:)・D(59点以	最後まで行う事。	D映像制作を体験しなか 上映し、内部だけでなく	がら、自分自身の役割を 外部評価を受ける事。		
実務経験教員の経歴		乍プロダクシ:	<u> </u> ョンにて10年番泡	<u></u> 組制作に携わる			

科目名	名						
担当教.		鈴木 則子	実	務授業の有無		0	
対象学	科・コース	全学科コース	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	選択	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業概: 授業の:	要、目的、 進め方	1. 正しい呼吸法・発声法を身2. マイク通りの良い発声・滑					
学習目		1. 声優・俳優としての発声を	身につける。2.	声優・俳優として』	必要な滑舌を身につ	ける。	
	スト・教材・参 『・その他資料	講師作成テキスト					
回数		授業項目、内容		学 	習方法・準備学習	・備考	
1	腹式呼吸 声帯ス	トレッチ		実習			
2	腹式呼吸 声帯ス	トレッチ		実習			
3	腹式呼吸 声帯ス	トレッチ		実習			
4	腹式呼吸 声帯ス	トレッチ		実習			
5	腹式呼吸 声帯ス	トレッチ		実習			
6	発声 滑舌課題文	———————————— 練習		実習。滑舌課題文を練習。復習箇所もチェック。			
7	発声 滑舌課題文	練習		実習。滑舌課題文を練習。復習箇所もチェック。			
8	発声 滑舌課題文	練習		実習。滑舌課題文	で練習。復習箇所 [:]	もチェック。	
9	発声 滑舌課題文	練習		実習。滑舌課題文を練習。復習箇所もチェック。			
10	発声 滑舌課題文	練習		実習。滑舌課題文を練習。復習箇所もチェック。			
11	テスト			滑舌課題確認テスト			
12	外郎売			暗唱			
13	外郎売			暗唱			
14	外郎売			暗唱			
15	外郎売			暗唱			
16	テスト			外郎売テスト			
	 言平1	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価		%、学習意欲20%、積極性20% .上)・B(70点以上)・C(60点以上)	—)・D(59点以上)・	しっかりと声を前に	:出す意識を持たせる。		
実務紹	経験教員の経歴	演技者	当・ナレーター	として10年以	上経験を積む		

科目名			演打	 支				
担当教	 員	矢頭 勲	:	 実務授業の有無		0		
対象学	科・コース	全学科コース	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期		
必修・	選択	選択	単位数	_	単位時間数	16時間		
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 演技者のための基本トレー 2. 演技をするための発声・身体3. 身体のケア・自己管理能力の	本感覚の習得					
学習目		自分の身体に興味を持ち、客観的にかかわっていくことができる。		ら開発できる。また、	自身でケアを行い	ながら積極的に表現		
テキス	スト・教材・参 ・その他資料	特になし。						
回数		授業項目、内容		学習	冒方法・準備学習	習・備考		
1	身体トレーニング	1		イントロダクショ	ン・トレーニングの	り重要性		
2	身体トレーニング	2		ストレッチ・リス	びム運動			
3	身体トレーニング	3		ストレッチ・リス	ぶム運動・呼吸法			
4	身体トレーニング	4		ストレッチ・リス	ぶム運動・呼吸法・角	第カトレーニング		
5	身体トレーニング	5		ストレッチ・リス 声・リセット	ストレッチ・リズム運動・呼吸法・筋力トレーニング・発 声・リセット			
6	身体トレーニング	6		ストレッチ・リス	ストレッチ・リズム運動・呼吸法・筋力トレーニング・発 声・リセット			
7	身体トレーニング	7		ストレッチ・リス	ストレッチ・リズム運動・呼吸法・筋力トレーニング・発 声・リセット			
8	身体トレーニング	8		ストレッチ・リス	ストレッチ・リズム運動・呼吸法・筋力トレーニング・発 声・リセット			
9	身体トレーニング	9			ぶム運動・呼吸法・角	第カトレーニング・発		
10	演技トレーニング	1		ストレッチ・リス		第カトレーニング・発 セット		
11	演技トレーニング	2		ストレッチ・リス	声・演技を伴う発声トレーニング・リセット ストレッチ・リズム運動・呼吸法・筋力トレーニング・ダ			
12	演技トレーニング	3		ストレッチ・リス	声・演技を伴う発声トレーニング・リセット ストレッチ・リズム運動・呼吸法・筋力トレーニング・発			
13	演技トレーニング	4		ストレッチ・リス	声・演技を伴う発声トレーニング・リセット ストレッチ・リズム運動・呼吸法・筋力トレーニング・発			
14	演技トレーニング	5		ストレッチ・リス	声・演技を伴う発声トレーニング・リセット ストレッチ・リズム運動・呼吸法・筋力トレーニング・チャー			
15	演技トレーニング	6		声・演技を伴う発声トレーニング・リセット ストレッチ・リズム運動・呼吸法・筋力トレーニング・発 声・演技を伴う発声トレーニング・リセット				
16	テスト			デート 演技を伴う発声トレーニング・リセット テスト (身体チェック・自己管理能力・メンタルケア能力)				
		価方法・成績評価基準			履修上の注意			
成績評価		%、学習意欲20%、積極性20% 上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以上)	表現者としてやってするつもりで臨んで	ほしい。日常のコンテ	ンます。 声づくりの素地を形成 ディションキープと常時 已管理能力を維持する意		
実務紹	経験教員の経歴		舞台演	寅劇活動10年以上。)			

科目名			歌唱			
担当教員	Į	西潟 明美	実	務授業の有無	0	
対象学科	・コース	全学科コース	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期
必修・選	択	選択	単位数	_	単位時間数	16時間
受業概要 受業の進	「、目的、 『め方	 テキストを元に声楽の基礎 正しい音程を身につける。 ミュージカル対応もできる。 		指導する。		
学習目標 (到達目		1.声楽の基礎を身につける。	2. 正しい音程	を身につける。	3.音域を広げる。	
		音楽之友社 コールユーブンゲミ 全音楽譜出版社 コンコーネ509				
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考
1 声	『楽のためのスト	レッチと呼吸 テキスト解説		歌うための身体の	準備の仕方、呼吸流	去を覚える。
2 声	『楽のためのスト	レッチと呼吸 母音と子音の発音	=====================================	歌うための声の出	し方の基礎、口の原	- 見け方など修得。
3	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ			シNo3 a/c、コンコ	
4 务	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲンNo3 a/c No4a/c、コンコーネNo.2 練習。		
5 务	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ 校歌		校歌練習。	シNo4 No6、コンコ	,
6 务	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ 校歌		コールユーブンゲンNo4 No8、コンコーネNo.3 校歌練習。		
7 多	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ 校歌		校歌練習。	ンNo6 No8 No10、	
8 3	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ 校歌		コールユーブンゲ 校歌練習。	・ンNo10 No11、コン	ンコーネNo.3
9 =	テスト				゛ン、コンコーネから	らのテスト。
10 1	上学期の復習 コ	ールユーブンゲン コンコーネ		1学期の復習。 コールユーブンケ	シNo13、コンコー	ネNo.4 練習。
11 多	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ		コールユーブンケ	ンNo13、コンコー	ネNo.4 練習。
12 多	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ		コールユーブンケ	ンNo15、コンコー	ネNo.4 練習。
13 务	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ			ンNo15、コンコー	
14 多	巻声 コールユー	ブンゲン コンコーネ		練習。	シNo15 No17、コン	
15 务	巻声 コールユー	ブンゲン コンコーネ ミューシ	ブカル楽曲	ミュージカル楽曲		
16 季	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ ミューシ	ブカル楽曲	コールユーブンケミュージカル楽曲	『ンNo17 No18、コミ BA練習。	ンコーネNo.7
	=77.7	┱╌╌┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈┈			尼收上《公古	
	高 半 1	西方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
 龙績評価基		%、学習意欲20%、積極性20% 上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以上)・		、音程を正す意識が必 ジカルに進出すること んでいかせる。	- · ·
実務経馬	倹教員の経歴	声楽指導、ミュ	ージカル歌唱:	指導者として、	30年以上の経験	を持つ

科目名			演奏				
担当教員 富田 一輝			実	務授業の有無		0	
対象学	科・コース	全学科コース	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	選択	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 各希望楽器を用いたアンサン 2. 各パートごとの練習、完成後 3. バンドステージとして発表					
学習目(到達	標目標)	初心者でも楽器が演奏できるよ 最終的にはバンド形態で1曲以上			クニックを身に付け	る。	
	スト・教材・参 書・その他資料	楽譜などプリント対応					
回数		授業項目、内容		学習	冒方法・準備学習	・備考	
1	楽器の特性などを	説明		ギター・ベース・	ドラムス・キーボー	- F *	
2	パート分け			各楽器および経験	の有無に分かれて網	関督を開始	
3	まず音を出してみ	-S		経験者は初心者を	ナポートしながら第		
4							
5	-			各パートに分かれて課題曲練習			
6	課題曲① 演奏練	習					
7	-						
8							
9	課題曲アンサンフ	ブルの練習		バンド形態で課題	通曲の練習		
10	課題曲① 発表			ステージにて課題曲演奏の発表			
11							
12	課題曲② 演奏練	習		各パートに分かれて課題曲練習			
13							
14	=======================================	\$4			5.44 0 (4.75)		
15	- 課題曲アンサンフ	ルの練省		バンド形態で課題曲の練習			
16	課題曲② 発表			ステージにて課題	通曲演奏の発表		
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	-	
		表30%、学習意欲20%、積極性2 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)		楽器は各自、ご用意	iください。		
D評価を	不可とする。						
美務約	経験教員の経歴	作曲家:2019年4月アニメキラッとプリ	リチャンED 作編曲、同	司4月Kore∶ct「スタート	ボタン」オリコンウィー	クリー総合5位 他多数	

科目名		—————— 声(夏				
<u>''' </u>	鈴木 則子		 実務授業の有無				
<u></u> 対象学科・コース	全学科コース	対象学年		開講時期	<u></u> 前期・後期		
必修・選択	選択	単位数		単位時間数	16時間		
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 日々行える声優トレーニン・ 2. 呼吸と発声についての基礎 3. イントネーション・プロミ	的知識を認識さ		-			
学習目標	1. 声優として持久力のある発剤				3. 声量やブレス		
(到達目標) テキスト・教材・参 考図書・その他資料	数を調整しつつ語ることができる 講師作成資料	る 4. 長又も	/	でさる。 			
回数			兴 2	3古法,淮借党3	3. 借去		
トレーニング	授業項目、内容		字音	習方法・準備学習 	川 一川		
1 発声・滑舌			発声練習(長音、	トレーニングを加え	た発声)		
2 トレーニング 発声・滑舌			実習 トレーニン 発声練習(長音、	⁄グ トレーニングを加え			
3 トレーニング			実習 トレーニン	グ			
<u>発声・滑舌</u> トレーニング			発声・滑舌練習(実習 トレーニン				
4 発声・滑舌			発声・滑舌練習(
トレーニング 発声・滑舌			実習 トレーニン 発声・滑舌練習(
6 トレーニング			実習 トレーニン	実習 トレーニング			
発声・滑舌 トレーニング			発声・滑舌練習(実習 トレーニン				
7 発声・滑舌 トレーニング			発声・滑舌練習(実習 トレーニン				
8 発声・滑舌				発声・滑舌練習(ナ行・マ行強化)			
9 実技テスト			実技テスト				
10 発声・滑舌			発声・滑舌練習(動きを加えての外郎	売練習)		
11 発声・滑舌			発声・滑舌練習(発声・滑舌練習(動きを加えての外郎売練習)			
12 長文訓練			長文練習「暑い日	長文練習「暑い日に熱い鍋」			
13 長文訓練			長文練習「暑い日	長文練習「暑い日に熱い鍋」			
14 長文訓練			長文練習「真田の				
15 長文訓練				長文練習「真田のサラダの皿だ」			
16 長文訓練			長文練習「固いだ	7 局い万」			
. 言半	価方法・成績評価基準			履修上の注意	Ţ		
定期試験(発表)40%、基礎 成績評価基準は、A(80点り D評価を不可とする。	力30%、学習意欲30% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以上)	ただし、授業で学へ	るだけの体力と、発声 ることはやり方であっ 我し練習することによっ	って、積み重ねが必要。		
実務経験教員の経歴		と・ナレータ	 一として10年り	上経験を積む			

科目名		_	映像				
担当教	員 ————————————————————————————————————	広川 一義	実施	務授業の有無		0	
対象学:	科・コース	全学科コース	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	選択	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業概: 授業の	要、目的、 進め方	1. 映像機材の名前、種類、扱い 2. 撮影・編集の基本的知識 3. スマホで撮影・編集・作品制					
学習目		スマホで簡単に動画制作が出来る	ること				
	スト・教材・参 ・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	斗はその都度配布				
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考	
1	カメラ・編集機材	·の説明					
2	カメラ・編集機材	 の説明		使用方法			
3	撮影			撮影の基本的知識	Ì		
4	撮影			カメラワークにつ	いて		
5	撮影			サイズと照明効果			
6	撮影			10カット撮影してみよう			
7	編集			ソフトの選び方			
8	編集			カット編集の基本的知識(静止画)			
9	編集			カット編集の基本	的知識(動画)		
10	編集			撮影した動画を自	分で繋いでみる		
11	МА			映像に音楽・効果音・ナレーションを入れる			
12	МА			映像に音楽・効果音・ナレーションを入れる			
13	作品制作						
14	作品制作						
15	1分間動画 作品列	卷表 評論 		スクリーンにて作	品投影		
16	1分間動画 作品列	卷表 評論 		スクリーンにて作	 		
	 言平1	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価 D評価を ^注	実技試験70%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ D評価を不可とする。				マホを使って自由に動)画制作が出来ること	
実務経	経験教員の経歴	新潟	の映像制作プ	ロダクションに	て10年勤務		

<u> </u>				Піз	(1) (1)	
科目名		T	照明			
担当教員		新潟照明技研株式会社 五味澤 和宏 実剤		務授業の有無		0
対象学科	・コース	全学科コース	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期
必修・選	択	選択	単位数	_	単位時間数	16
授業概要、 授業の進		1. ステージ照明の機材・装置 2. ステージ照明のプランニン 3. 電気・作業手順など安全配	ングが出来る。	- ₃		
学習目標 (到達目	標)	安全に、作業を行うとともに、 得する。	必要な機材の選定	€、使用方法を理解	し、簡単な演出照明	とプランニングを
	・教材・参考	教科書は使用しない、必要な資	資料はその都度配布	ī		
回数		授業項目、内容	_	学習	習方法・準備学習	・備考
1	照明基礎1 機材	けについて		舞台照明の役割。	機材の出し方、しま	ミい方
2	照明基礎2 照明	卓操作と色の変化		機材の名称、使い	、方と安全な作業につ	ついて
3	照明基礎3 機材	†について復習と灯体の種類)説明。灯体の移設と	ú 撤去。
4	照明基礎4 図面	「の見かたと電気の基礎知識 		図面の読み方。回路など電気の知識。 灯体の吊り込み方について。		
5	照明基礎5 照明]の図面を使ったイメージ作り		吊り込み実習。灯体に配色。ポリカラーの解説。		
6	照明基礎 6 電気	基礎 原理基本編		オームの法則、左手の法則など。 一般照明とLEDの設置方法など、照明器具の設営。		
7	照明基礎7 電気	(基礎 応用編		灯具総数電気容量、使用電気の確認方法等 照明のフォーカス (当たり合わせ)		
8	照明基礎8 照明	 仕込み図の作り方		図面の作り方、イメージの具現化 図面の仕込みを実際にやってみる		
9	照明基礎9 前期	復習(テスト)		前回までの復習と		
10	照明基礎10 基			休暇明け、基礎知識・技術の呼び戻し		
11	照明基礎11 演	目とイメージ		演目を仮設定し、図 に設置し、相違点を	図面おこし。仮設定され ・発見・修正	た演目の図面から実
12	照明基礎12 音	音楽モノの照明プラン		音楽モノの照明に		
13	照明基礎13 芝	 E居などの効果演出		演劇用効果の出し	ン方、照明演出につい	が いて
14	照明基礎14 演			芝居演目に対応し演出照明に必要な	よ機材等の説明	LIB. 15.11.15.1
15	 照明基礎15 フ	プランニングまとめ		照明プランに関す		
16	照明基礎16 基	よ礎のまとめ			高所灯具のフォーカ 戦と器具の管理・操作	
	 評価				 履修上の注意	
	準は、A(80点以上)	、実技試験25%、学習意欲10%)・B(70点以上)・C(60点以上)		に繋がっていくとは	っています。実習中すべ は限りません。学ぶ上で 引による環境の変化を想 てください。	、可能な限りのアク
実務経験	 験教員の経歴	新潟		<u> </u> 会社に所属する ³	 現役の照明家	

2				国際	映像メディア専門	門学校 シラバス	
科目名			音響				
担当教員	1	株式会社サウンドエイト長	谷川 辰也 実	務授業の有無			
	学科・コース 全学科コース 対象学年			全学年	開講時期	前期・後期	
必修・遺	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業概 授業の途	要、目的、 進め方	1. 音響機材の使用方法、名前 2. 各種ケーブルの取り扱い、 3. 録音機材を使用し、収録し	取り回しを学ぶ				
学習目標 (到達目		音の性質を理解し、扱えるよう	になる。				
	ト・教材・参考 ・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布	ī			
回数		授業項目、内容		学習	アイス・準備学習 かんかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	・備考	
1	音響基礎実習				音の役割、録音のや		
2	音響基礎実習Ⅱ			音との性質、録音 種類、扱い方法を		且み方法、ケーブルの	
3	音響基礎実習Ⅲ			録音機材の準備方			
4	音響基礎実習IV			ブームの使用方法、レコーディング、ミキシング方法を ^は ぶ			
5	音響基礎実習V			スタジオ録音実習			
6	音響基礎実習VI			アフレコ録音実習			
7	音響基礎実習VII			アフレコ録音実習			
8	音響基礎実習VIII			効果音実習(作成および、録音、適切な選択方法)			
9	音響基礎実習IX			効果音実習(作成および、録音、適切な選択方法)			
10	音響基礎実習X			整音実習(アフレコ素材の整音)			
11	音響基礎実習XI			整音実習(アフレコ素材の整音)			
12	音響基礎実習XII			整音実習(アフレコ素材の整音)			
13	音響仕上げ実習Ⅰ			ミックスダウンを行ってみる。			
14	音響仕上げ実習Ⅱ			ミックスダウンを行ってみる。			
15	音響効果研究Ⅰ			アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割 果たしているかを学習する			
16	音響効果研究Ⅱ			アカデミー録音賞の作品を鑑賞し、音がどのような役割 果たしているかを学習する			
] 評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価	70%、出席率30% 基準は、A(80点以 下可とする。	上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下)・			目に出席し、かつ音響ダ こ。	
実務経	験教員の経歴	新潟市を中	心にイベント、 	舞台等の照明	・音響を手がける	·	

科目名制作							
担当教	 員	朝倉隆司	務授業の有無		0		
対象学	科・コース	全学科コース	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業概要、目的、 授業の進め方1. イベントが作られる仕組みを学ぶ 2. イベント運営を学ぶ 3. 自主企画イベントを行ってみる							
学習目		学生自身のイベント企画、実施					
テキス	<u>ロボター</u> (ト・教材・参 『・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布				
回数				学習	 『方法・準備学習	♂・備考	
1	イベント企画導入				での必要な考え方		
2	イベント企画導入	II		イベントに必要な	人材や役割を理解す	する	
3	イベント企画Ⅰ			公演時に必要な役割と準備			
4	イベント企画Ⅱ			企画書作成に関する基礎知識			
5	イベント企画Ⅲ			演目や内容の提案。内容に関する取り組み方と実現性について			
6	イベント企画IV			いくつか取り上げたアイデアをもとに、実現性を考えてみる			
7	イベント企画V			様々な意見やジャンルからアイデアを集てみる			
8	イベント企画VI			アイデアを纏め、短時間設定での企画を立ててみる。			
9	イベント企画VII			仮想イベントを設定して、企画書の作成を行ってみよう(提出)			
10	イベント企画WII			イベント論1 公演目的と意義			
11	イベント企画IX			イベント論2 地域交流(イベント)			
12	イベント企画 X			イベント論3 多種多様なイベント形態			
13	イベント企画XI			出演者やスタッフの動きを考える			
14	イベント企画XII			出演者のタイムスケジュールについて			
15	イベント企画XIII			スタッフ進行表について			
16	総括			実演目的の企画を	立ててみる。(演目	目時間自由)	
	評1	面方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価	〒70%、出席率30% 京基準は、A(80点以 不可とする。	.上)・B(70点以上)・C(60点以上)		16回すべての授業に	出席し、イベントの幻	企画を行う事	
実務経	経験教員の経歴	放送・音楽業界の	現場に7年、『	- 専門学校にて28	年の指導、MBA	Aホルダー	

<u></u> 科目名			演		、吹啄グノイノ寺			
担当教				 実務授業の有無		0		
対象学	———— 科・コース	全学科コース	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期		
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	10時間		
授業概:授業の	要、目的、 進め方	1. 映像表現に必要な演出手法 2. 学生の制作作品をチェック		的改善的を指導する。				
学習目		自ら演出を考え、役者に芝居に	応じた演出を付	けけられる				
	ト・教材・参							
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考		
1	演出基礎丨			筋書と台詞につい	いて			
2	演出基礎Ⅱ			立ち位置、見栄え	こ、動き			
3	演出基礎Ⅲ			効果的な音響・照	贸明効果			
4	演出論 I			著名な演出家	著名な演出家			
5	演出論Ⅱ			歴史的・社会的・	歴史的・社会的・世界観表現			
6	演出論Ⅲ			創作演出、メソッ	創作演出、メソッド効果など			
7	映像・演出とは何	か		画面の映り方によ	画面の映り方による画面効果の違い			
8	映像・演出とは何	か		視線の的確な誘導	視線の的確な誘導を考える!			
9	特殊撮影について			特撮の演出方法を	特撮の演出方法を研究する①			
10	特殊撮影について			特撮の演出方法を	特撮の演出方法を研究する②			
11	アクションについ			なめらかに見せる	なめらかに見せる演出方法			
12	アクションについ			フレームインアウ	フレームインアウトなど			
13	場面転換の効果に	ついて		時間経過、場面軸	時間経過、場面転換などの演出方法①			
14	場面転換の効果に	ついて		時間経過、場面軟	時間経過、場面転換などの演出方法②			
15	学生作品(5分)制	制作			各自、演出方法を参考に動画を制作してみる。			
16	学生作品(5分)。	の編集チェック		各自、作品を持着良し悪しの指導を	泳してプロジェクター ÷行う。	-投影しながら編集の		
	評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意			
成績評価	●の評価70%、学習 i基準は、A(80点以 不可とする。	意欲30% (上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下		品は自身の作品であるこ は何本でも可能である。	と。		
実務経	経験教員の経歴		演劇業界につ	て実績あり。当校	専任講師			